

新しいサーバーマシンへの、データ・設定の移行の流れ

サーバークライアント（共同編集あり）用

旧サーバーマシンでの作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除



新サーバーマシンでの作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定
- ⑧ サーバーの参照先変更

ONE のインストール方法を確認します

まず、ご利用中のTREND-ONE、Mercury-ONEの「インストール方法」を確認します。

確認方法は以下の2種類です。

- 1.「現場管理」で確認する。
- 2.「現場管理以外」で確認する。

インストール方法によって、サーバーマシン入れ替えの手順が変わります。

※ここでは、TREND-ONEの画面で解説します。

インストール方法を確認する

■ 現場管理で確認する

- 1 TREND-ONE のプログラムがインストールされているパソコンで「現場管理」を起動して、ウィンドウのタイトルバーを確認します。



「現場管理（共同編集あり）」と表示されている場合は



5ページからの手順で、新しいサーバーマシンへの移行をおこないます。

5ページへ

「現場管理（共同編集なし）」と表示されている場合は



弊社ウェブサイト「[お客様サポート](#)」の「別のパソコンへ入れ替えるには？」の「サーバーマシンを入れ替える方法（共同編集なし）」をご確認ください。

■ 現場管理以外で確認する

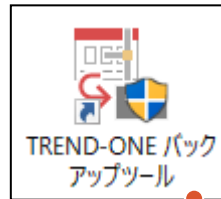
何らかのトラブルで「現場管理」を起動できなくなった場合などは、以下のいずれかの方法で確認してください。
※ここでは、TREND-ONEの画面で解説します。

- 共同編集あり / 共同編集なし

- ① TREND-ONE サーバーをインストールしたサーバーマシンのデスクトップ上に
 - ・TREND-ONE バックアップツール
 - ・TREND-ONE サーバー現場移行ツールの2種類があるか、ないか

ある場合→共同編集あり

ない場合→共同編集なし



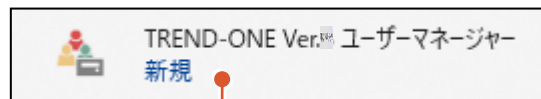
Mercury-ONEの場合は、

- ・Mercury-ONE バックアップツール
 - ・Mercury-ONE サーバー現場移行ツール
- がデスクトップ上にあります。

- ② スタートメニューに
 - [FukuiComputerApplication] —
 - [TREND-ONE Ver.○ ユーザーマネージャー]があるか、ないか

ある場合→共同編集あり

ない場合→共同編集なし



Mercury-ONEの場合は

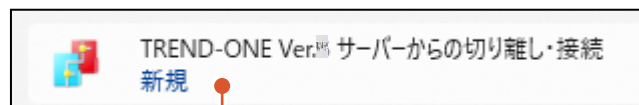
「Mercury-ONE Ver.○ ユーザーマネージャー」です。

- 共同編集なし / スタンドアロン

- ① スタートメニューに
 - [FukuiComputerApplication] —
 - [TREND-ONE Ver.○サーバーからの切り離し・接続]があるか、ないか

ある場合→共同編集なし

ない場合→スタンドアロン

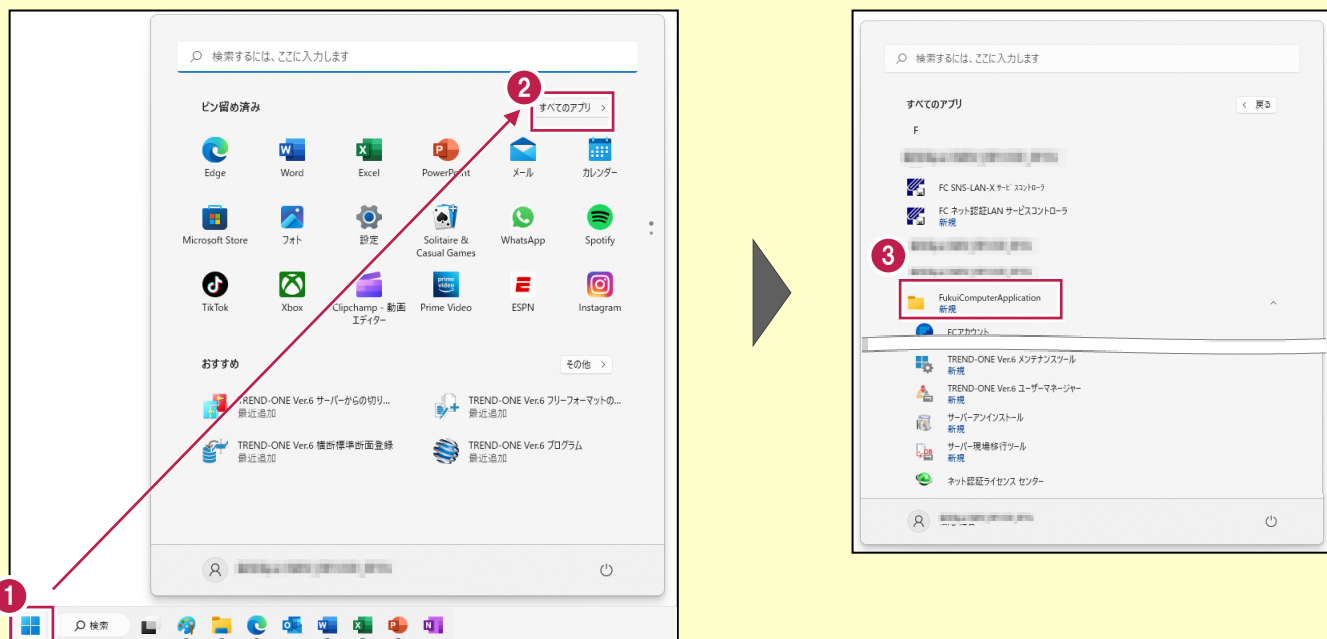


Mercury-ONEの場合は

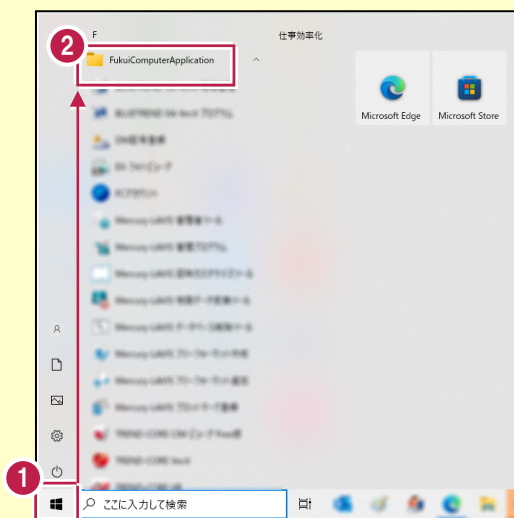
「Mercury-ONE Ver.○ サーバーからの切り離し・接続」です。

【補足】 スタートメニューから [FukuiComputerApplication] を確認する手順

- Windows11の場合



- Windows10の場合



1

データ・設定のバックアップ

まず、旧サーバマシンで、「サーバー現場データ」と「ローカル現場データ」「全設定」をバックアップします。
※ここでは、TREND-ONEで説明します。

1-1 「サーバー現場データ」をバックアップする

サーバー現場データをバックアップする手順です。

「サーバー現場データのバックアップ」は、サーバーでおこないます。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

① サーバのデスクトップにある

[TREND-ONE バックアップツール]

をダブルクリック、または

[スタートメニュー] -

[FukuiComputerApplication] -
[バックアップツール]

をクリックして、「サーバーバックアップツール」を
起動します。

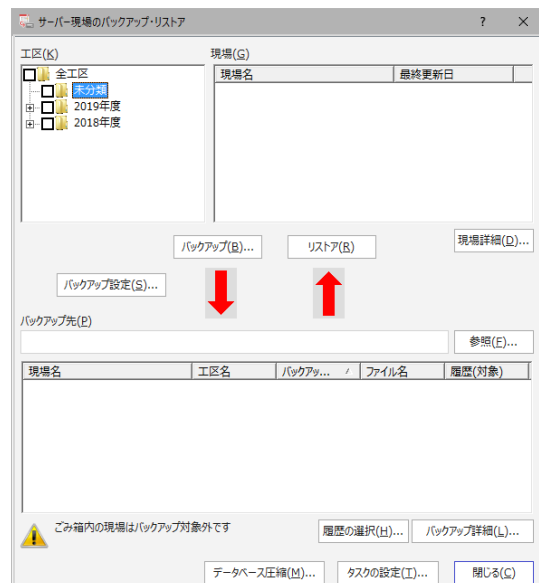
「デスクトップ」



「スタートメニュー」



「サーバーバックアップツール」

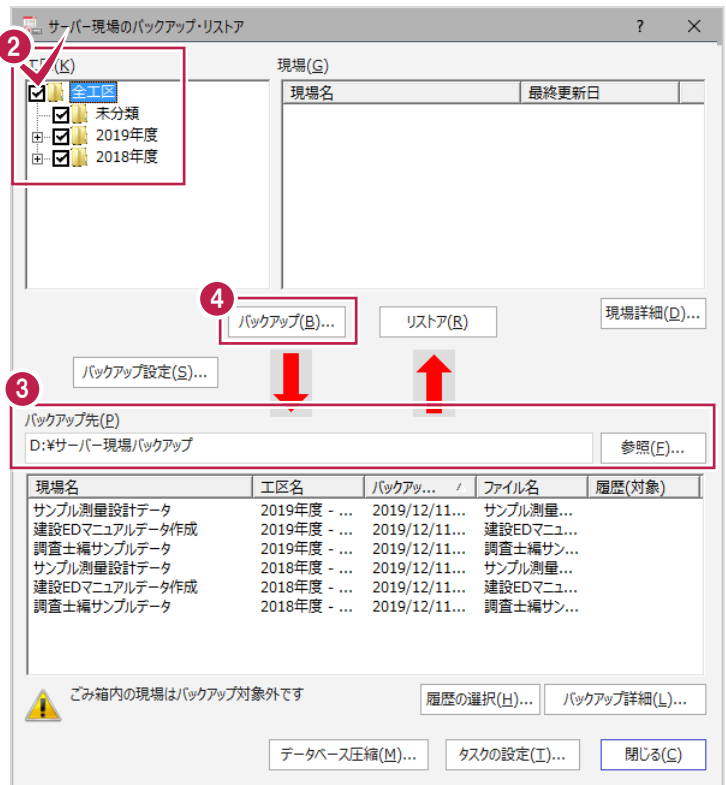


- ② 「全工区」のチェックをオンにします。

すべての工区のチェックが「オン」になったことを確認します。

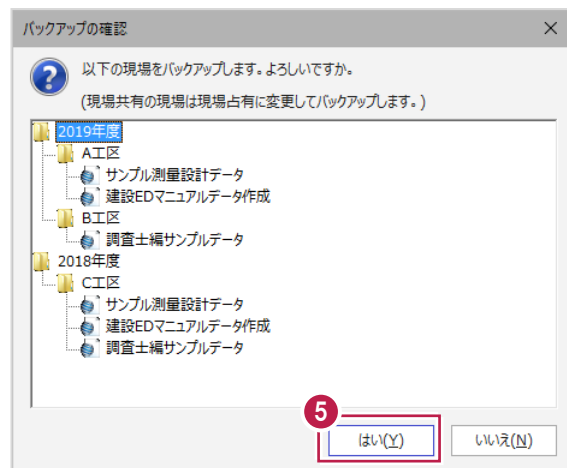
- ③ バックアップ先のフォルダーを指定します。

- ④ [バックアップ] をクリックします。



- ⑤ [はい] をクリックします。

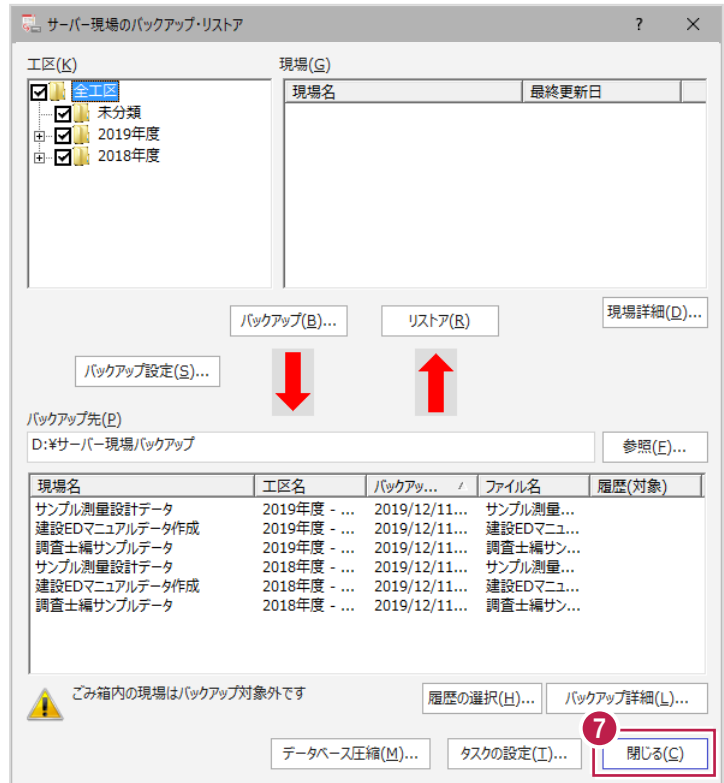
バックアップが開始されます。



- ⑥ バックアップが終了したら、[OK] をクリックします。

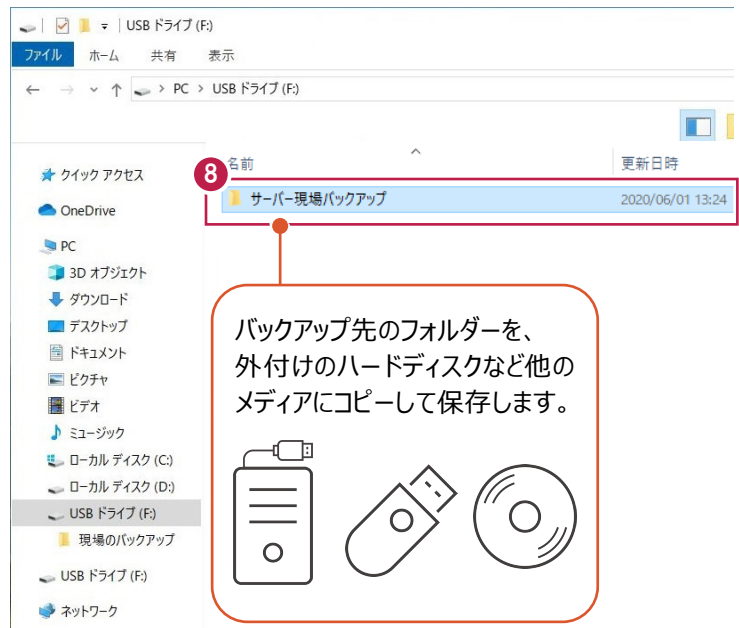


- 7 「サーバーバックアップツール」の「閉じる」をクリックして終了します。



- 8 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「サーバー現場データのバックアップ」は完了です。



1-2 ローカル現場データをバックアップする

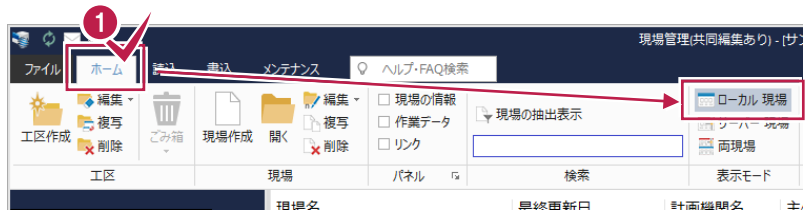
旧サーバマシンに保存されているローカル現場データをバックアップする手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

※以降の操作は、サーバマシンでTREND-ONEのプログラムを使用しており、かつローカル現場データが存在している場合のみ必要な操作です。

上記条件に当てはまらない場合は、必要ありません。

- ① 現場管理を起動して、[ホーム] タブー [表示モード] グループー [ローカル現場] をクリックします。

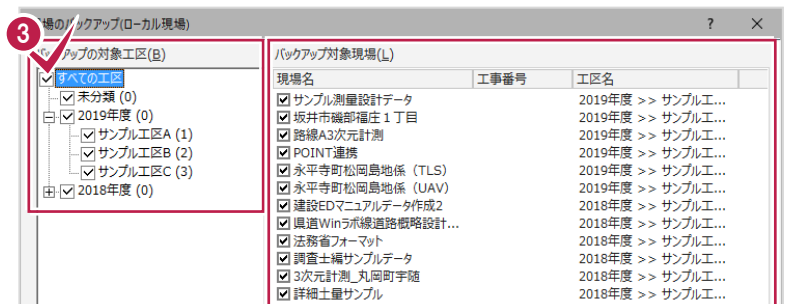


- ② [書込] タブー [バックアップ] グループー [現場] をクリックします。

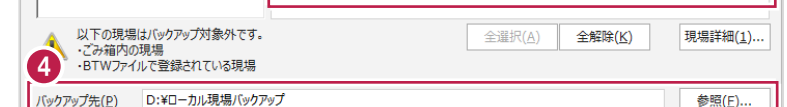


- ③ 「すべての工区」のチェックを「オン」にします。

[バックアップ対象工区] のすべての工区と、
[バックアップ対象現場] のすべての現場の
チェックが「オン」になったことを確認します。



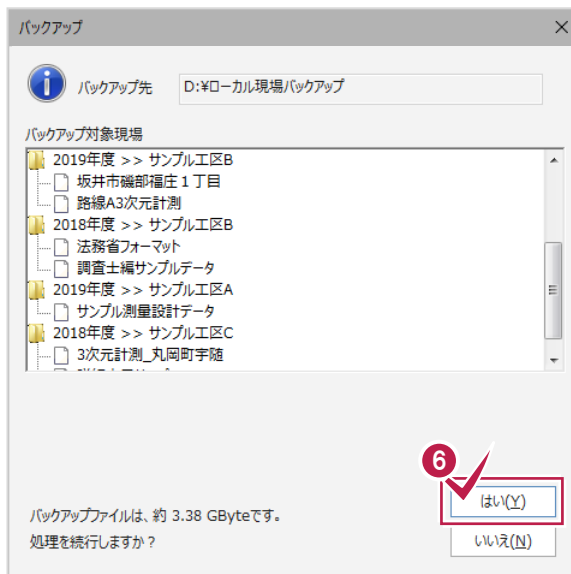
- ④ バックアップ先のフォルダーを指定します。



- ⑤ [バックアップ] をクリックします。



- 6 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。

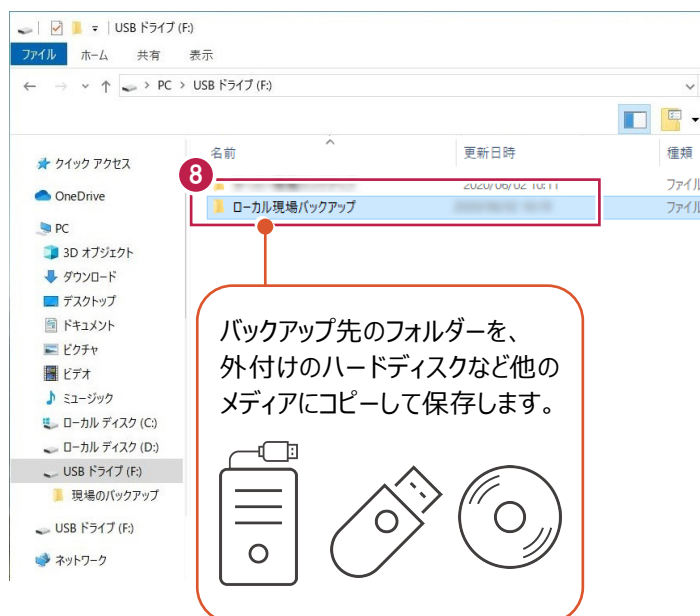


- 7 バックアップが終了したら、[OK] をクリックします。



- 8 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「ローカル現場データのバックアップ」は完了です。



1-3 全設定をバックアップする

サーバーと各クライアントPCに保存されている全設定をバックアップする手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「設定」のバックアップは、いずれか1台のパソコンでおこないます。

◆サーバーマシンでも TREND-ONE のプログラムを使用している場合

→サーバーマシンで操作をおこなってください。

◆クライアントマシンのみで TREND-ONE のプログラムを使用している場合

→いずれか1台のクライアントマシンで操作をおこなってください。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

- 1 現場管理を起動して、[ホーム] タブー [表示モード] グループー [ローカル現場] をクリックします。



- 2 現場管理の [書込] タブー [バックアップ] グループー [全設定] をクリックします。



- 3 バックアップされる条件を確認して [次へ] をクリックします。

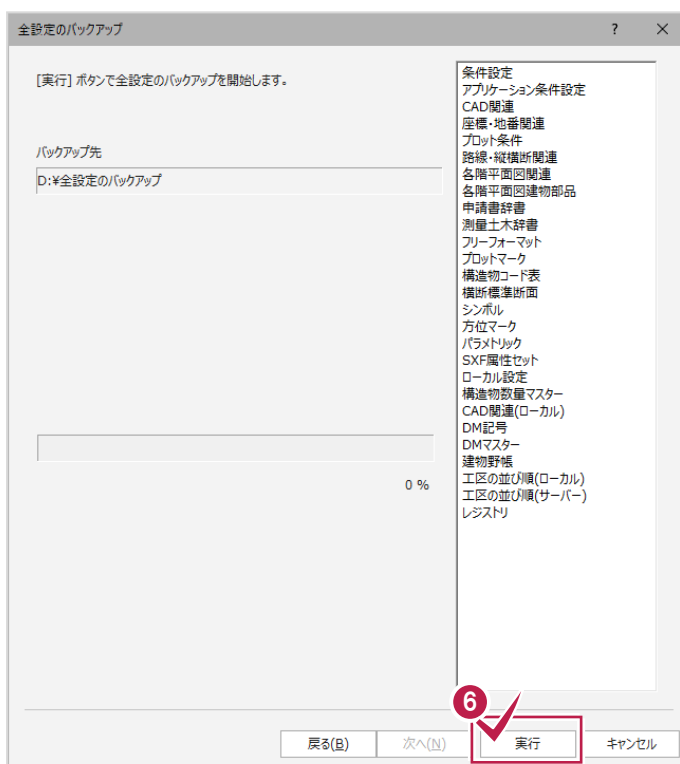


4 バックアップ先のフォルダーを指定します。

5 [次へ] をクリックします。



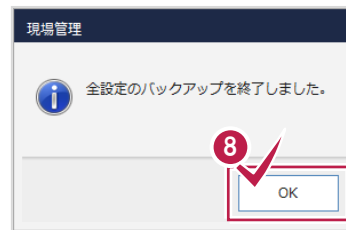
6 [実行] をクリックします。



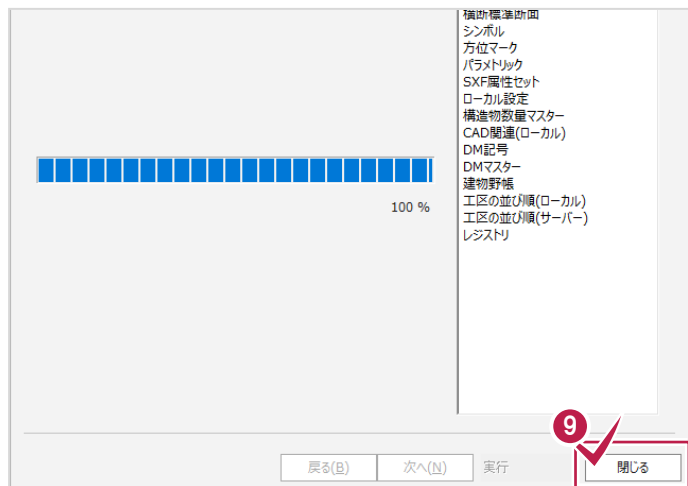
- 7 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 8 バックアップが終了したら [OK] をクリックします。

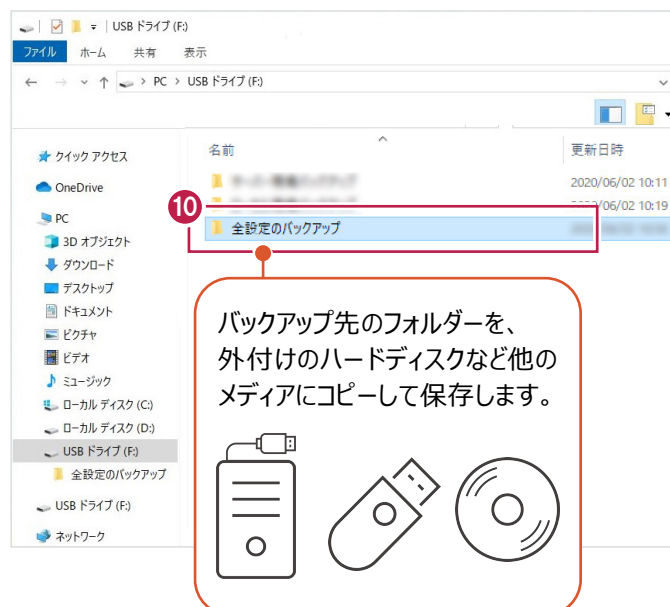


- 9 [閉じる] をクリックします。



- 10 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「全設定のバックアップ」は完了です。

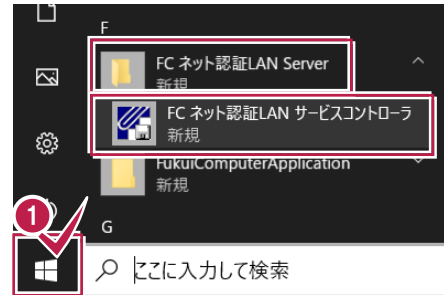


2 ライセンスの解除

旧サーバーマシンで使用しているライセンスを解除します。
ライセンスを解除しないと、新サーバーマシンでライセンスを認証することができません。

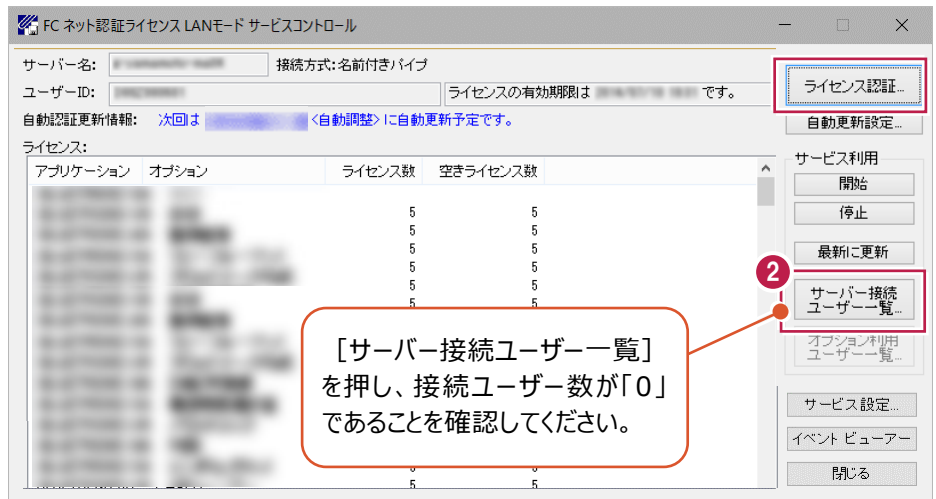
2-1 ネット認証ライセンス（LAN）の解除（サーバー）

① スタートメニューから、[FC ネット認証 LANServer] - [FC ネット認証 LAN サービスコントローラ] を起動します。



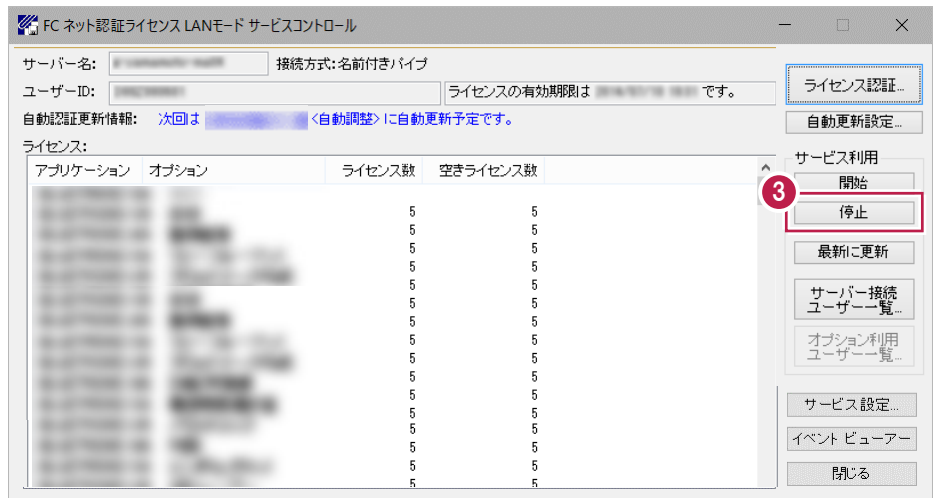
② [ネット認証ライセンス LAN モードサービスコントロール] 画面が表示されます。

[サーバー接続ユーザー一覧] を押し、接続ユーザー数が「0」であることを確認後 [ライセンス認証] を押します。
[設定] 画面が表示されますので [解除] を押します。



③ [サービス利用] - [停止] を押します。

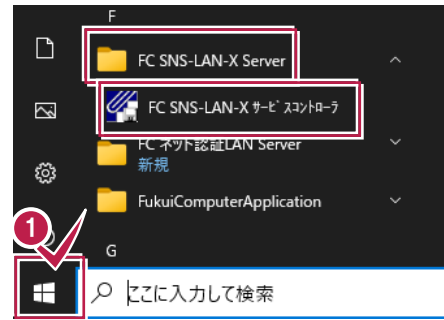
ライセンスの解除完了後は、旧サーバーマシンの「FCネット認証LAN Server」をアンインストールしておくことをお勧めします。



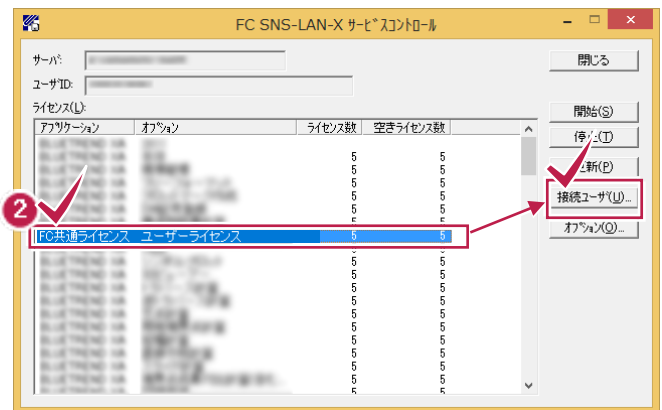
以上でネット認証ライセンス（LAN）の解除は完了です。

2-2 USBプロテクト（SNS-LAN-X）の解除（サーバー）

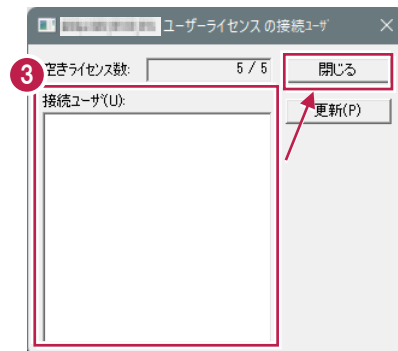
- ① スタートメニューから、[FC SNS-LAN-X Server] - [FC SNS-LAN-X サービスコントローラ] を起動します。



- ② [SNS-LAN-X サービスコントロール] 画面が表示されます。
[オプション] 欄から [ユーザーライセンス] を選択して、
[接続ユーザ] をクリックします。

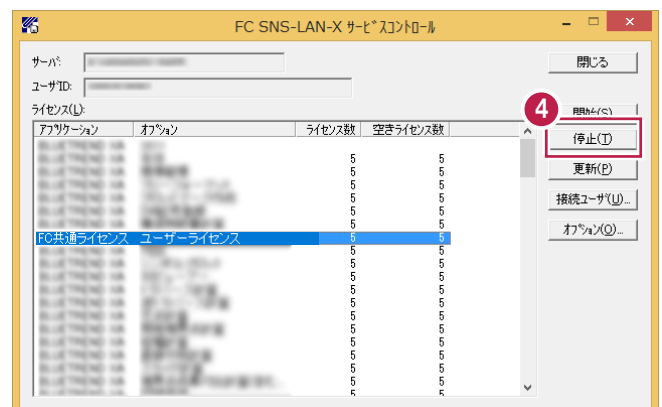


- ③ ユーザーライセンスの接続ユーザが空欄になっていることを確認し、[閉じる] を押します。



- ④ [停止] を押します。

ライセンスの解除完了後は、旧サーバーマシンの「FC SNS-LAN-X Server」をアンインストールしておくことをお勧めします。

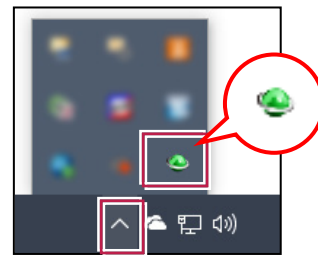
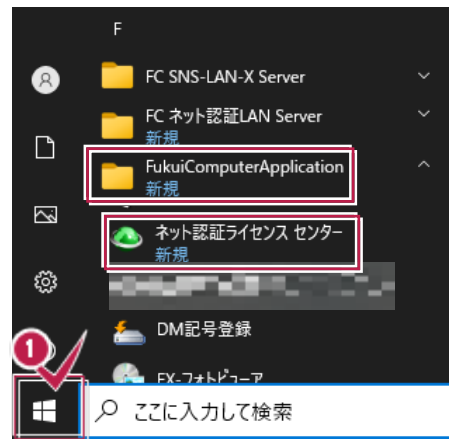


以上で USB プロテクト（SNS-LAN-X）の解除は完了です。

2-3 ネット認証ライセンス（占有）の解除

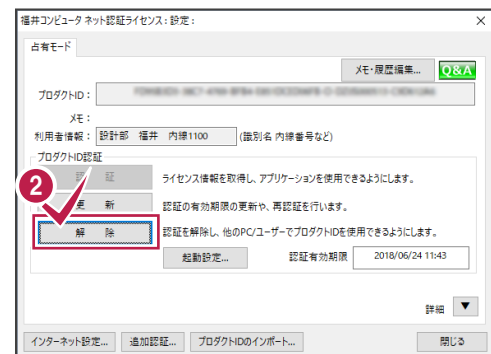
- 1 スタートメニューから、[FukuiComputerApplication] - [ネット認証ライセンスセンター] を起動します。

もしくは、画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、起動します。



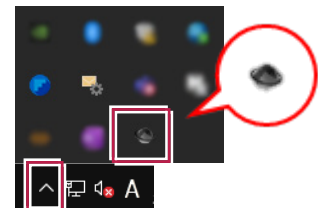
- 2 ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[解除] を押します。

以上でネット認証ライセンス（占有）の解除は完了です。

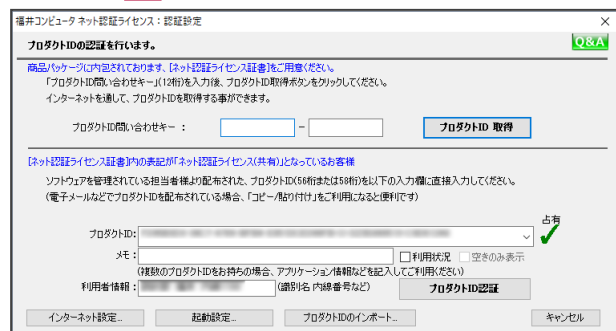


補足

ネット認証ライセンスセンターのアイコンが右図のように黒くなっている場合は、ライセンスは「解除」済みです。



また、ネット認証ライセンスセンターを起動したときに右図のように「認証設定」の画面が表示された場合は、ライセンスは「解除」済みです。



3

FC アカウントのインストール

新サーバーマシンに、TREND-ONE、Mercury-ONEの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCアカウント」をインストールします。

※新サーバーマシンに、FCアカウントのインストールができない場合は、代わりにクライアントマシンにインストールしてください。

3-1 FCアカウントをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCアカウント」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC アカウント」を検索します。



- 2 検索結果の「FC アカウントご利用案内 | 福井コンピュータグループ」をクリックします。
検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

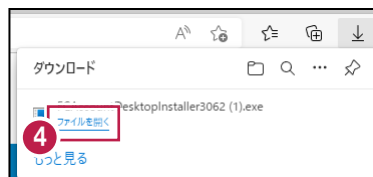
<https://hd.fukuicompu.co.jp/fc-account/info.html>



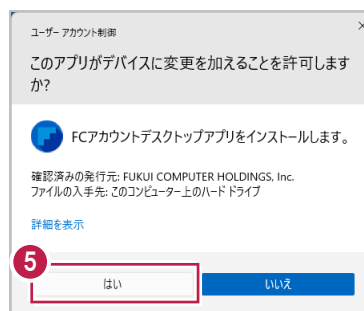
- 3 「FC アカウントをダウンロード」をクリックします。



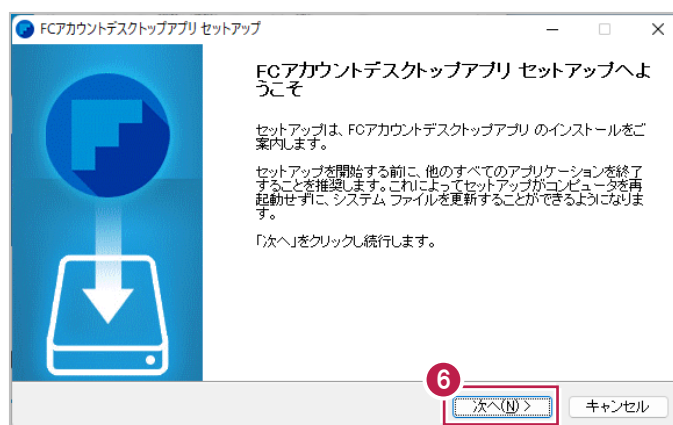
- ④ ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「ファイルを開く」を押します。



- ⑤ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

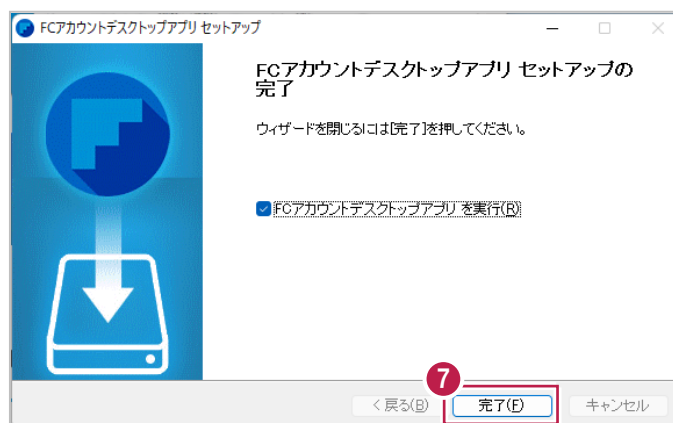


- ⑥ FC アカウントのセットアップが開始されます。
画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



- ⑦ インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

※ [FC アカウントデスクトップアプリを実行] がオンの状態で「完了」をクリックすると、自動的に FC アカウントのデスクトップ版が起動されます。



※ FC アカウントのデスクトップ版をインストールすると、デスクトップに FC アカウントを起動するアイコンが登録されます。



※ インストールしたデスクトップアプリ版で、FC アカウントを登録して製品をインストールします。

8 FCアカウントデスクトップ版で次の画面が開きます。「次のステップへ」を押します。

※ 他のパソコンで FC アカウントを登録済みの方は、「すでに FC アカウントをお持ちの方はログインへ」よりログインして、「インストール・バージョンアップ」より製品をインストールできます。



9 FC アカウントデスクトップ版を利用するお客様のメールアドレスを入力して、「確認コードを送信」を押します。

[次へ] をクリックして、ユーザー登録をおこないます。



10 入力したメールアドレス先にメールが届きます。メールに書かれているコードを「確認コード」に入力して「コードの確認」を押します。



- 11 「新しいパスワード」「パスワードの確認入力」（確認のため2回入力）「姓」「名」を入力し、利用規約を確認して「利用規約に同意」にチェックを付け「作成」を押します。

メールアドレスを確認しました。引き続きパスワード、姓、名を入力して「作成」を押してください。

11

新しいパスワード

パスワードの確認入力

姓

名

利用規約に同意（※ページ下部参照）

作成

< 戻る

- 12 「お客様情報の確認」を押します。

ご利用中の当社製品シリアルから当社でお預かりしているお客様情報と連携します

12 お客様情報の確認

< HOME

- 13 右記の画面が表示されますので、保守サービス中をご契約中の場合は「こちら」をクリックします。

シリアルが見つかりませんでした。

当社製品をご購入の際は、必ずご確認ください。

保守サービスをご契約中の方は、[こちら](#)から当社製品をインストールできます。

13

お客様情報の連携に関するお問い合わせは[こちら](#)

< HOME

- 14 「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して「製品を表示する」を押します。

HOME > 保守契約プログラムのインストール

14

保守契約プログラムのインストール

ユーザーコードと製品シリアルを入力してください。インストール可能な製品が表示されます。※ユーザーコードと製品シリアルについては[こちら](#)

製品を表示する

※以上で、「FC アカウントのインストール」は完了です。

補足 「ユーザーコード」と「製品シリアル」の確認方法

「ユーザーコード」と「製品シリアル」は、以下の部分に記載されています。ご確認ください。もしくは弊社WEBサイト「お客様サポート」の[プロテクトタイプの確認方法](#)をご確認ください。

●製品に同封されているネット認証ライセンス証書

ユーザーコード	009999
ユーザー名	福井コン
製品シリアル番号	*****

または

●プロテクト裏面のシール

ユーザーコード：半角数字6桁もしくは7桁

製品シリアルNo.：半角英数字10桁

4 ONE のインストール

新サーバーマシンにインストールしたFCアカウントを利用して、TREND-ONE、Mercury-ONEを新規インストールする手順を解説します。

※ここでは、TREND-ONEで説明します。

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



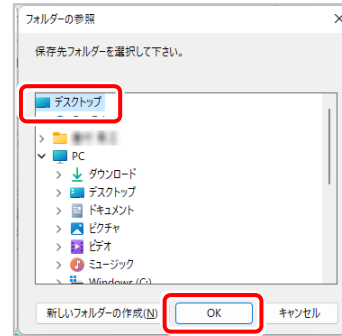
「インストール・バージョンアップ」のページにあるTREND-ONEの「インストール」ボタンをクリックします。



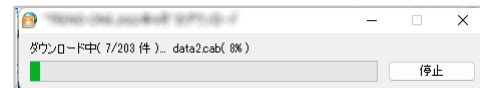
メニューが表示されますので、「【サーバー運用はこちら】全体ファイルを保存」をクリックします。



2. ダウンロードする全体ファイルの保存先を選択して、[OK] をクリックします。



3. ダウンロードが開始されます。



※ ダウンロードを中止するには、上記画面で [停止] をクリックしてダウンロードを一時停止してから、[×] ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

4. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。

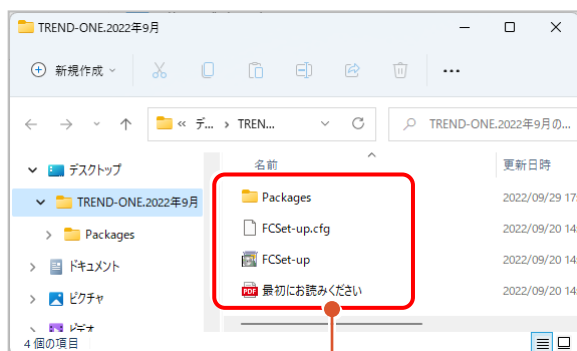
[閉じる] をクリックして画面を閉じます。



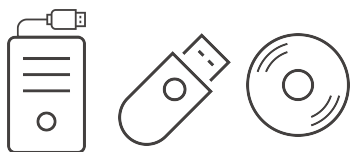
(次ページへ続く)

5. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルを、外付けハードディスクなどのメディアにコピーして保存します。

（サーバーでダウンロードした場合は、そのまま実行できますのでDVDやUSBメモリに書き込む必要はありません。）



外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。



以上で、全体ファイルの保存は完了です。

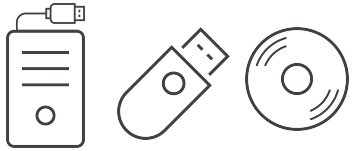
続いて次ページへ進み、プログラムをインストールします。

▼
（次ページへ続く）

まず、サーバマシンにプログラムをインストールをします

1. 全体ファイルをコピーしたメディア（外付けハードディスクなどを）、サーバにセットします。

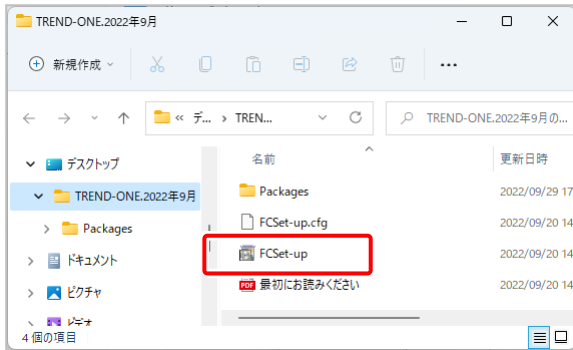
ダウンロードした全体ファイルを保存したメディア



「サーバ」



2. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルにある“FCSet-up.exe”を実行します。



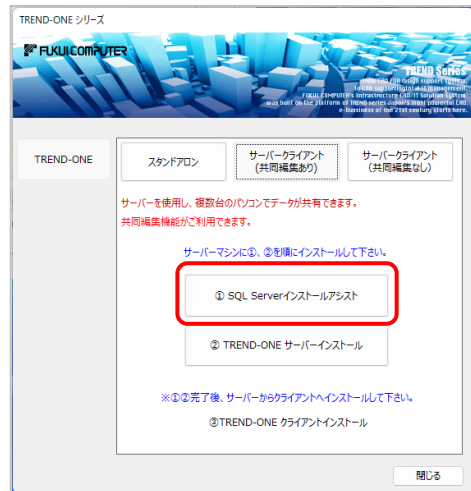
3. セットアップ画面が表示されます。



[サーバクライアント（共同編集あり）] タブを選択します。



[① SQLServer インストールアシスト] ボタンを押します。



(次ページへ続く)

4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

インストールアシストが不要な場合があります

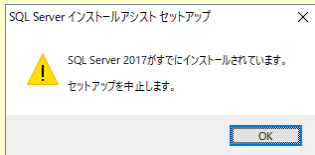
※ コンピューターに、既に製品版の「SQLServer」がインストール済みの場合は、「インストールアシスト」でSQLServerをインストールしないでください。

次ページへ進んでください。

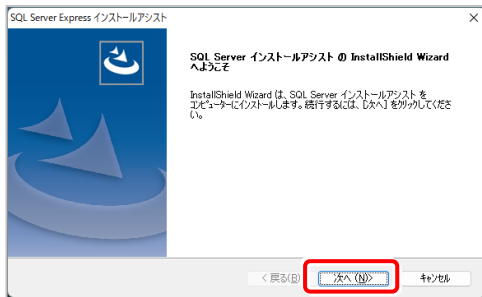
※ 「インストールアシスト」でSQLServerをインストールする必要がない場合は、「セットアップ（インストール）」を中止します。」とメッセージが表示されます。

次ページへ進んでください。

メッセージ例



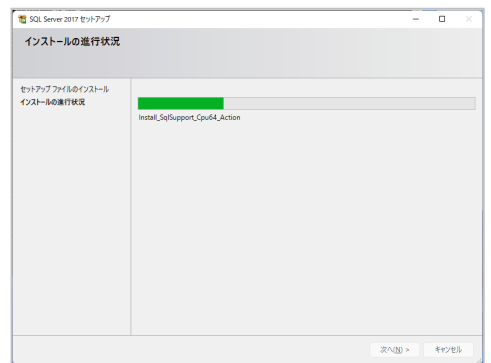
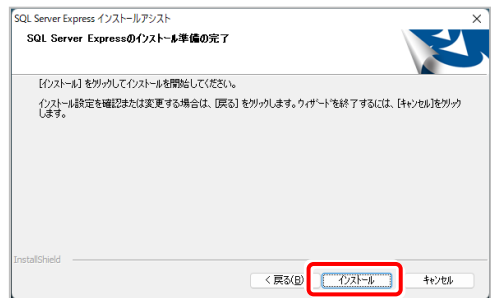
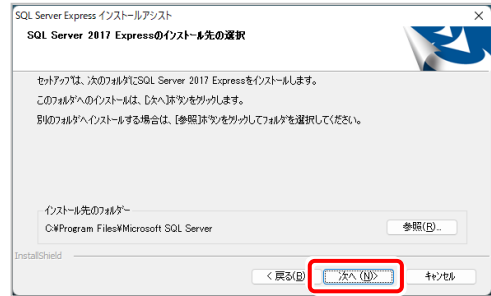
- ※ 画面は、環境によって異なる場合があります。
- ※ インストールには時間がかかる場合があります。



「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択します。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。

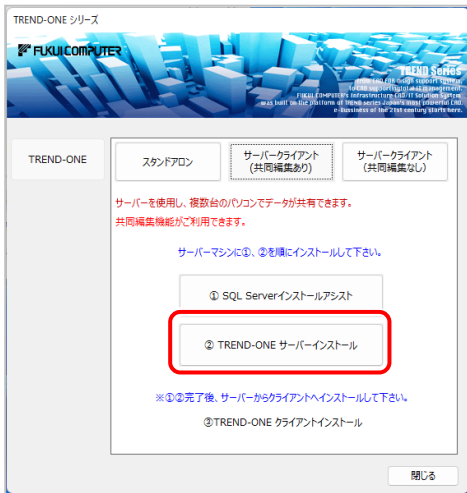


※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。



(次ページへ続く)

5. サーバーで、セットアップ画面の [② TREND-ONE サーバーインストール] ボタンを押します。



6. インストール環境の確認画面が表示されます。すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ] ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します] を選択します。

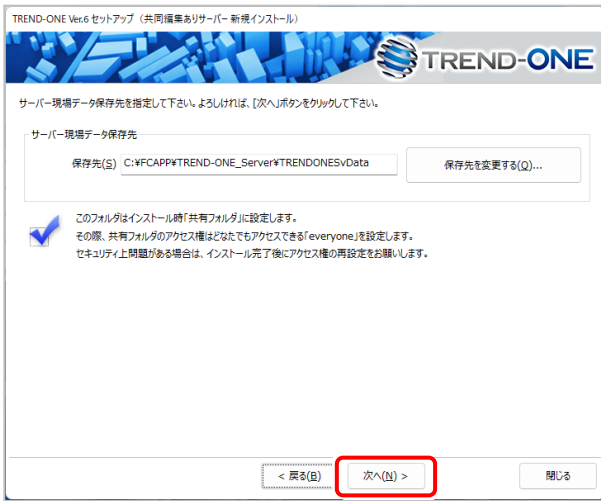


プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



(次ページへ続く)

サーバー現場データの保存先を確認して、[次へ]を押します。



サーバーツールのインストール先を確認して、[次へ]を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

以上で、サーバーのインストールは完了です。

続いて次ページへ進み、クライアントにインストールします。

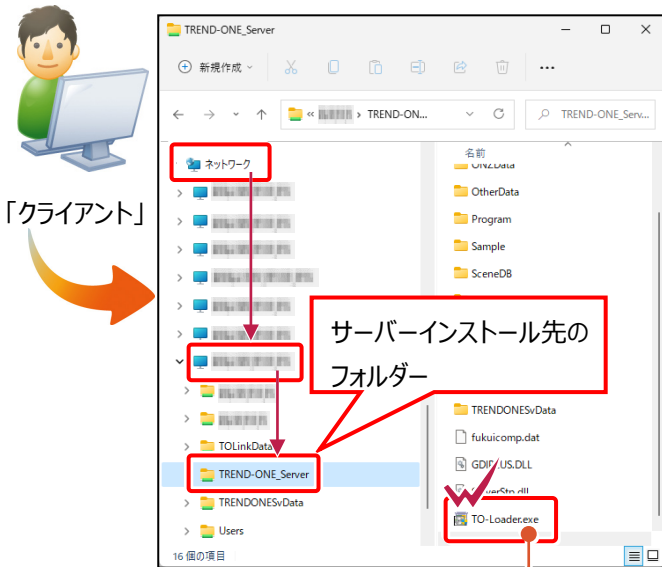


(次ページへ続く)

次に、サーバーマシンにクライアントインストールをします

※これらの操作は、サーバーマシンでも ONE プログラム（現場管理など）を使用する場合のみおこなってください。

1. クライアントからエクスプローラーを開き、「ネットワーク」からサーバーを参照して、「サーバーインストール先のフォルダー」にある、「TO-Loader.exe」を実行します。



Mercury-ONEの場合は、「MO-Loader.exe」を実行してください。

2. インストール環境の確認画面が表示されます。

すべての項目を確認してチェックしてから、[次へ] ボタンを押します。

左上に（共同編集ありクライアント新規インストール）と表示されていることを確認してください。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します] を選択します。



(次ページへ続く)

コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）、インストール先フォルダーを確認します。

必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ] を押します。

時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

プロテクトを確認してください

ここでは、プロテクトが「ネット認証ライセンス（占有）」になっていることを確認してください。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する] ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

※ご利用のプロテクトによって、選択する「プロテクトの種類」は異なります。

ご利用のプロテクトが分からない場合は、弊社 WEB サイト「お客様サポート」の「[プロテクトタイプの確認方法](#)」をご確認ください。

サーバー名を確認して次へ進みます。

内容を確認して、[セットアップ開始] を押します。

プログラムのインストールが開始されます。

(次ページへ続く)

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

以上で、「ONEのインストール」は完了です。

5 ライセンスの取得

新サーバーマシンにインストールしたFCアカウントを利用して、サーバーマシンおよびクライアントマシンで「ライセンス取得」をおこないます。

5-1 ネット認証ライセンス（LAN）のライセンス取得手順

新サーバーマシンに「ネット認証LANサーバー（ライセンス管理プログラム）」をセットアップします。

Step1 | ネット認証LANサーバーのインストール

※この操作は新サーバーマシンで必要な操作です。クライアントマシンでは不要な操作です。

クライアントマシンでのライセンス取得方法は「Step3 ネット認証LANライセンスの取得」に進んでください。

※サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

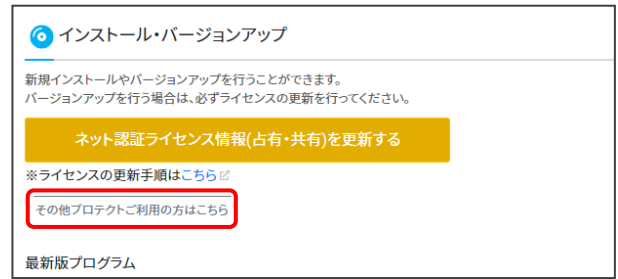
1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



2. 「インストール・バージョンアップ」をクリックします。



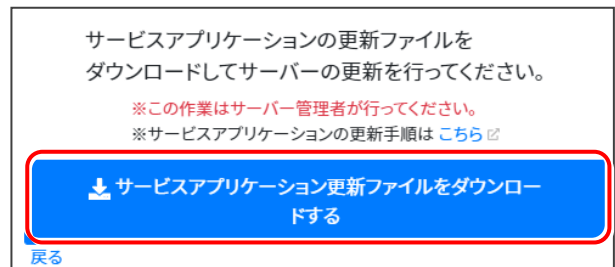
3. 「[その他プロテクトをご利用の方はこちら]」をクリックします。



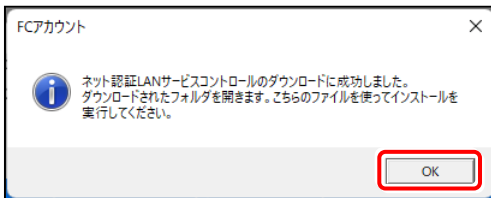
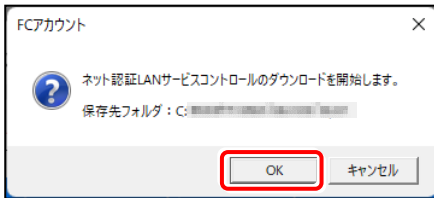
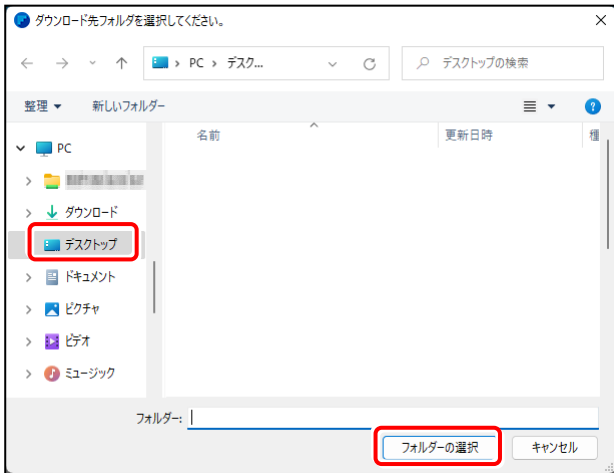
4. 「LAN型 ネット認証プロテクトをご利用のお客様」をクリックします。



5. 「サービスアプリケーション更新ファイルをダウンロードする」をクリックします。

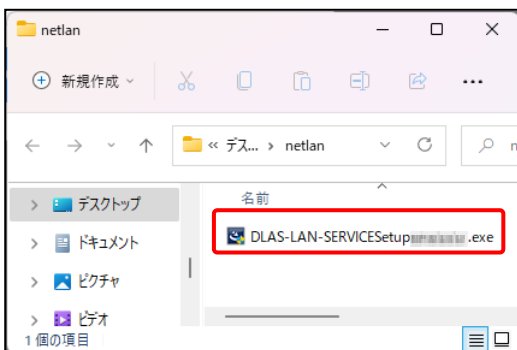


6. ダウンロードするファイルの保存先を指定して、[OK] をクリックします。

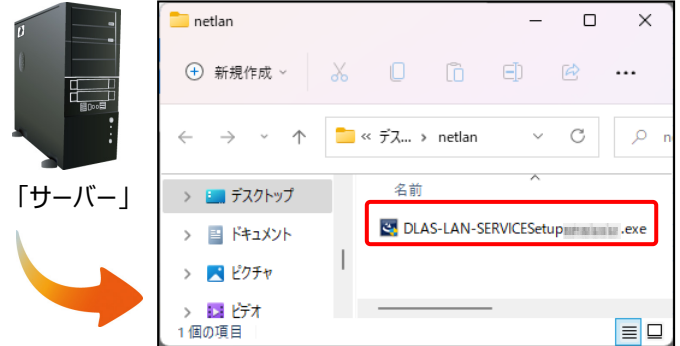


7. ダウンロード先に “netlan” フォルダが作成されます。フォルダ内の更新用ファイルを、エクスプローラーなどを利用して、DVDやUSBメモリに書き込んでサーバーへ移動してください。

（サーバーでダウンロードした場合は、そのまま実行できますのでDVDやUSBメモリに書き込む必要はありません。）

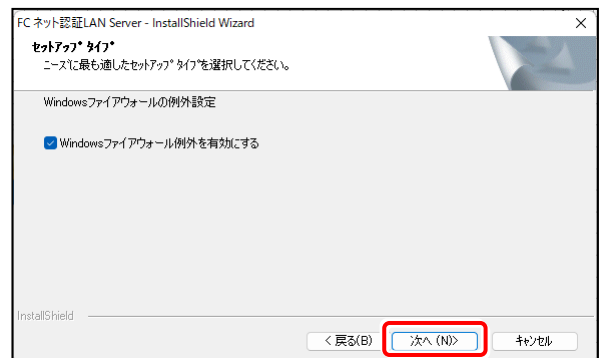
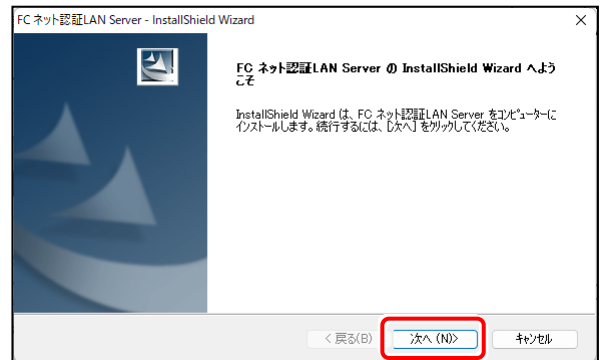


8. ネット認証ライセンス（LAN）のサーバーで、更新用ファイル “DLAS-LAN-SERVICESetup~.exe” を、実行します。

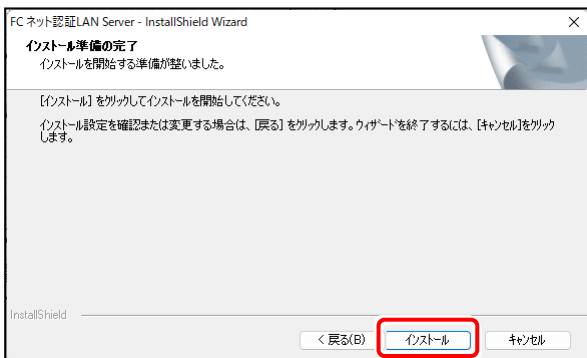


9. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーをインストールします。

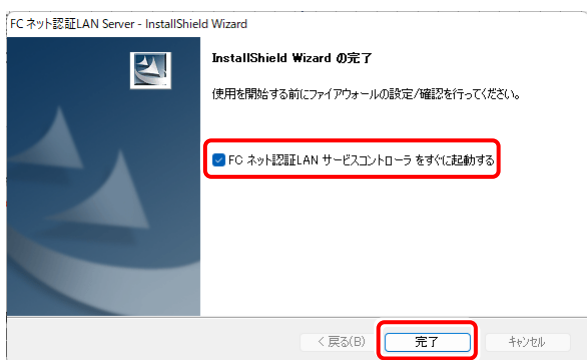
表示される画面は、異なる場合があります。



（次ページへ続く）



10. [FCネット認証LAN サービスコントローラをすぐに起動する] をONにして、[完了] をクリックします。



(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | プロダクトIDの認証（サーバー）

インターネットを通して、プロダクトIDの認証を行います。

この処理により プロダクトIDに関連付けられたライセンスを使用できるようになります。

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール] 画面から [ライセンス認証] をクリックします。



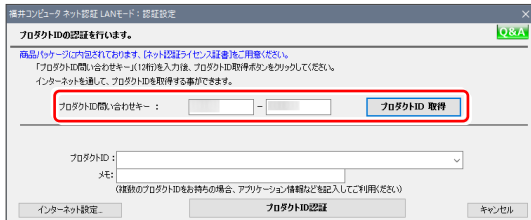
※ 上記画面が表示されていない場合は、

Windows11 : スタートメニューの「すべてのアプリ」

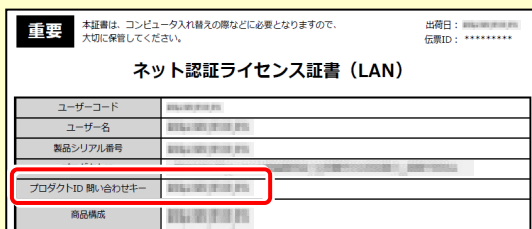
Windows10 : スタートメニュー

から、[FC ネット認証LAN Server] - [FC ネット認証LAN サービスコントローラ] を起動してください。

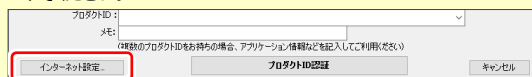
2. [認証設定] 画面が表示されますので、[プロダクトID問い合わせキー] を入力して、[プロダクトID取得] をクリックします。



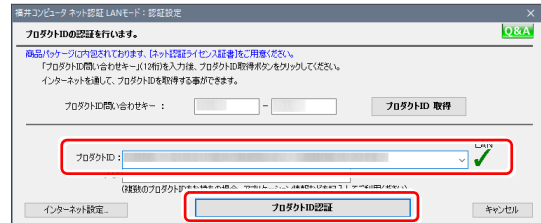
※ 「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される「ネット認証ライセンス証書 (LAN)」に記載されています。



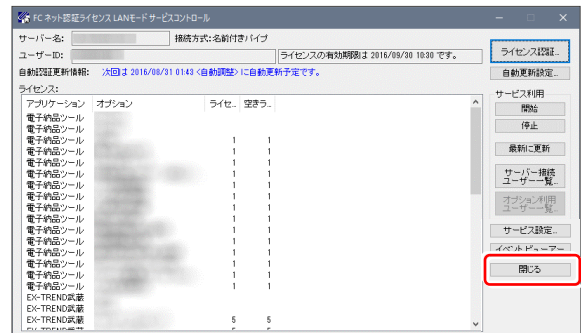
※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定] を押して、プロキシ設定を変更してみてください。



3. [プロダクトID] が取得されたのを確認し、[プロダクトID認証] をクリックします。



4. ライセンス情報が取得されたことを確認し、[閉じる] をクリックします。

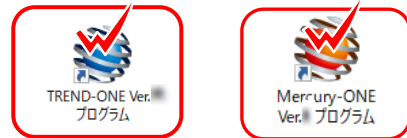


(次ページ「Step3」へ進みます)

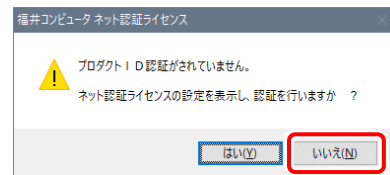
Step3 | ネット認証ライセンスの取得

新サーバマシン、およびクライアントマシンでインストール済みのプログラムを起動して、ネット認証ライセンスのモード（占有、LAN、占有モード+LANモード、共有モード）を指定します。

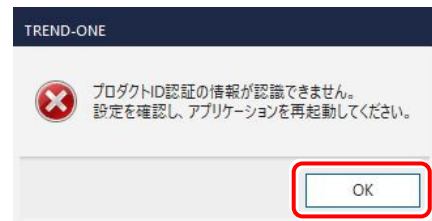
1. デスクトップの [TREND-ONE] [Mercury-ONE] をダブルクリックして起動します。



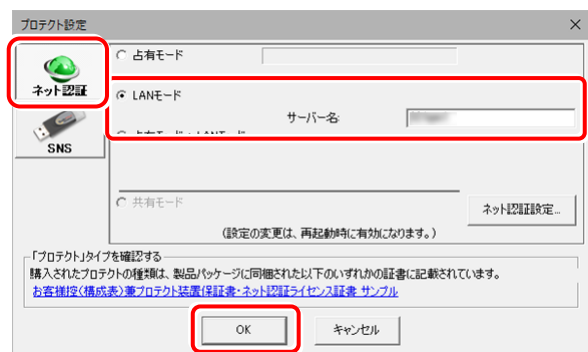
2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[いいえ] を選択します。



次に表示されるメッセージは [OK] をクリックします。



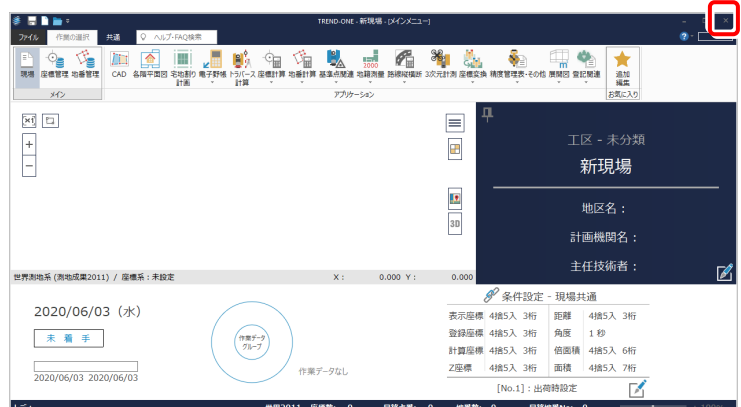
3. [プロダクト設定] 画面が表示されるため [ネット認証] の [LANモード] を選択して [サーバー名] に「FCネット認証LAN Server」をインストールした新サーバマシン名を入力します。 入力を終わったら [OK] をクリックします。



4. プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の [×] ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で、「ネット認証ライセンス（LAN）のライセンス認証」は完了です。



5-2 USBプロテクト（SNS-LAN-X）のライセンス取得手順

新サーバーマシンに「SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）」をセットアップします。

Step1 | プロテクトドライバのインストール

※この操作は新サーバーマシンで必要な操作です。クライアントマシンでは不要な操作です。

クライアントマシンでのライセンス取得方法は「Step3 プロテクトの認証」に進んでください。

※サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

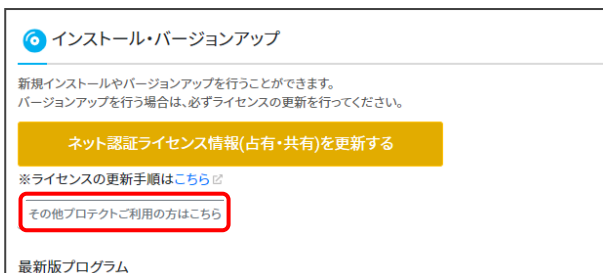
1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



2. 「インストール・バージョンアップ」をクリックします。



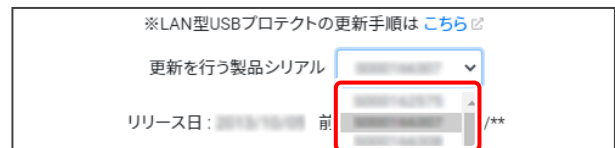
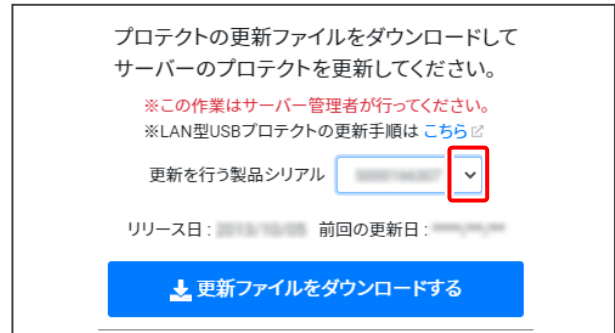
3. 「[その他プロテクトをご利用の方はこちら]」をクリックします。



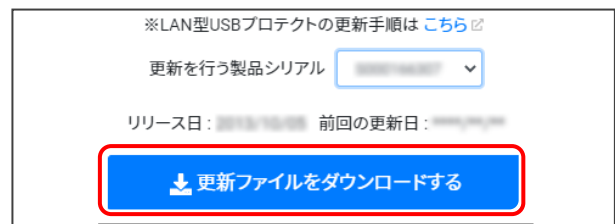
4. 「LAN型 USBタイプのプロテクトをご利用のお客様」をクリックします。



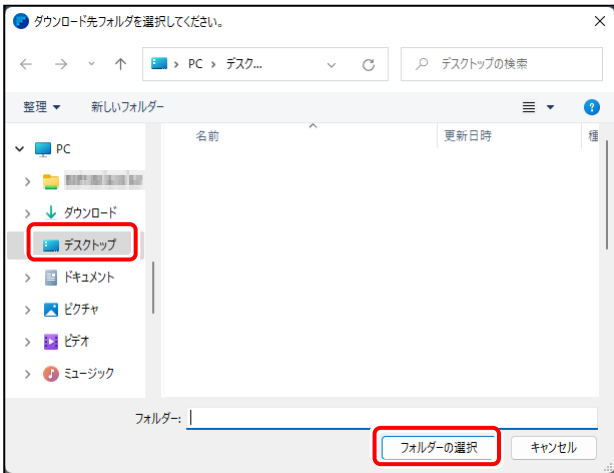
5. ライセンスの認証をおこなうUSBプロテクトの「製品シリアルNo.」を、リストから選択します。



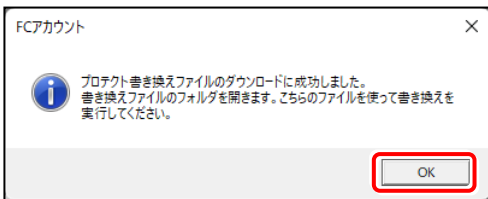
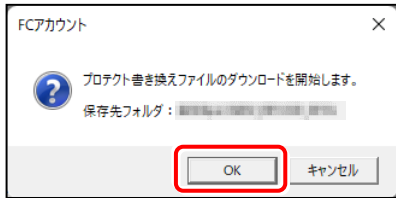
6. 「更新ファイルをダウンロードする」をクリックします。



7. 更新ファイルの保存先（デスクトップなど）を指定して、
[フォルダーの選択] をクリックします。



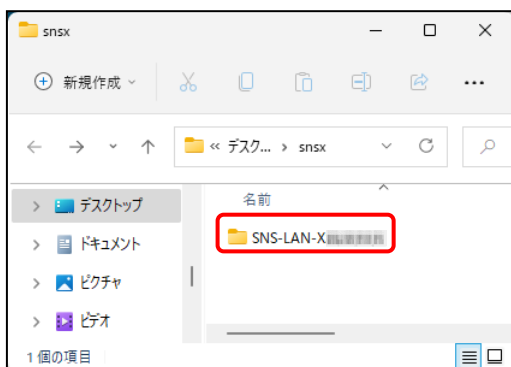
8. [OK] をクリックすると、ダウンロードが開始されます。



9. ダウンロードが完了すると、エクスプローラーが開かれ、ダウンロード先に "snsx" フォルダが作成されます。

フォルダ内の「更新ファイル」を、エクスプローラーなどを利用して、DVDやUSBメモリに書き込んでサーバーへ移動してください。

（サーバーでダウンロードした場合は、そのまま実行できますのでDVDやUSBメモリに書き込む必要はありません。）



10. 弊社商品のプロテクトに限らず、サーバーにUSBプロテクトが装着されている場合は、**全て外します**。

※ **重要！！**

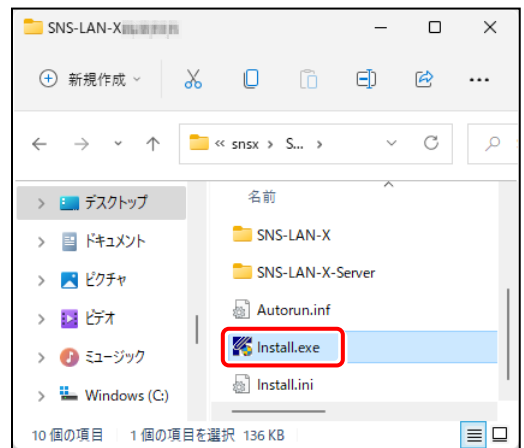
USBプロテクトは、
まだサーバーに
装着しないでください。



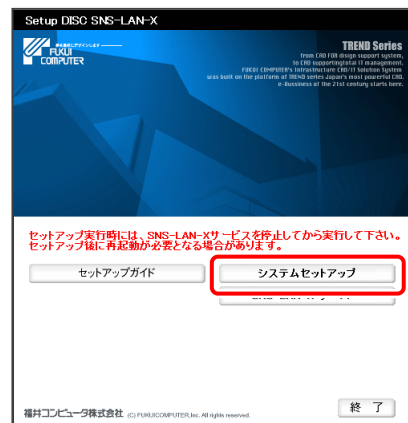
11. ダウンロードした「更新用ファイル」内の
" SNS-LAN- X ***** "フォルダ内にある
" Install.exe "を、サーバー上で実行します。



「サーバー」



12. Setup画面より、[システムセットアップ] をクリックします。



(次ページへ続く)

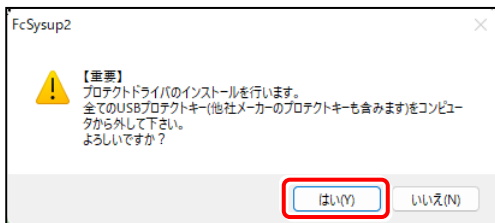
13. USBプロテクトの画像ボタンをクリックします。



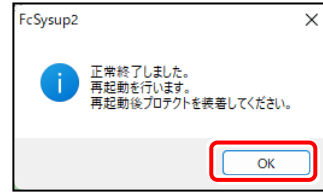
14. 「SNS-LAN-X」をクリックします。



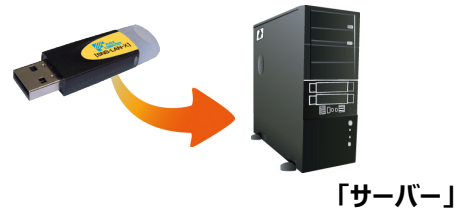
15. サーバーにUSBプロテクトが装着されていないことを確認したら、【はい】をクリックします。



16. インストールが終了したら再起動を促すメッセージが表示されます。【OK】をクリックしてサーバーを再起動します。



17. サーバーにUSBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着します。自動的にデバイスドライバソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

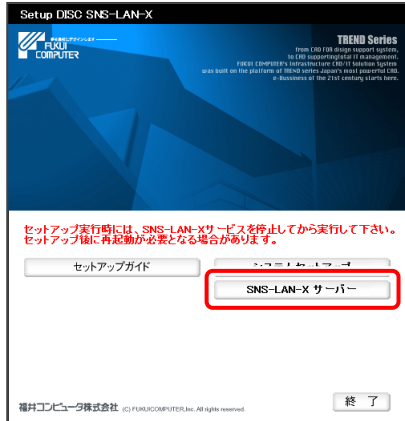


(次ページ「Step2」へ進みます)

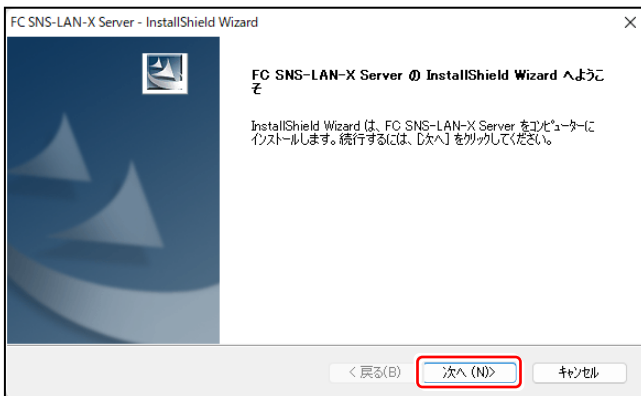
Step2 | SNS-LAN-Xサーバーのインストール

サーバーにライセンス管理ツール（SNS-LAN-X サーバー）をインストールします。

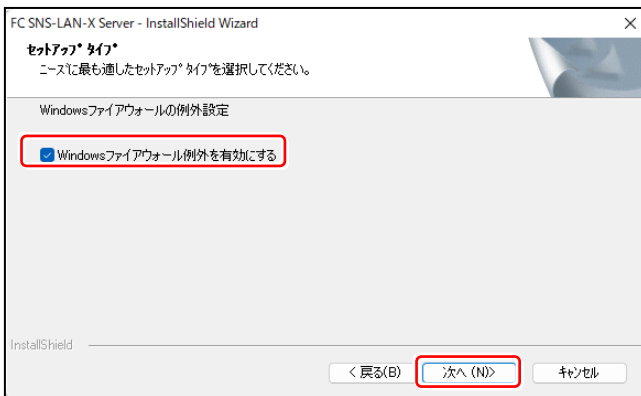
1. Setup画面より [SNS-LAN-X サーバー] をクリックします。



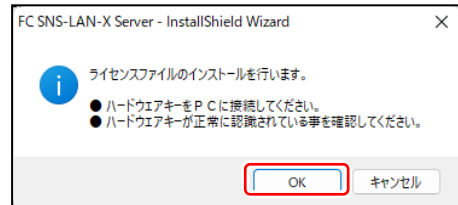
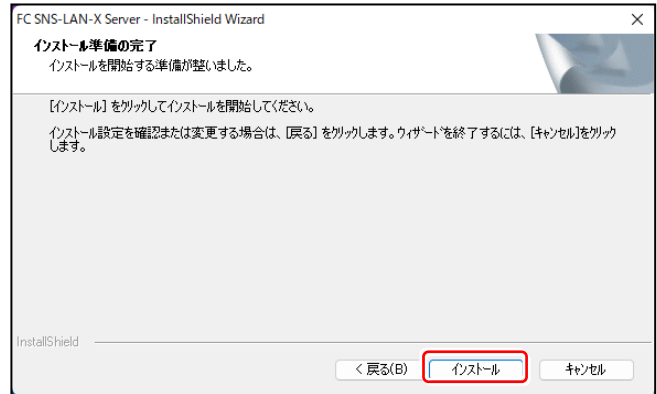
2. [次へ] をクリックします。



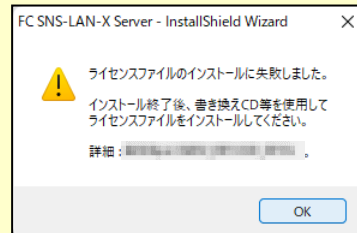
3. [Windowsファイアウォール例外を有効にする] をONにして、[次へ] をクリックします。



4. 表示される画面に従って、インストールを開始します。

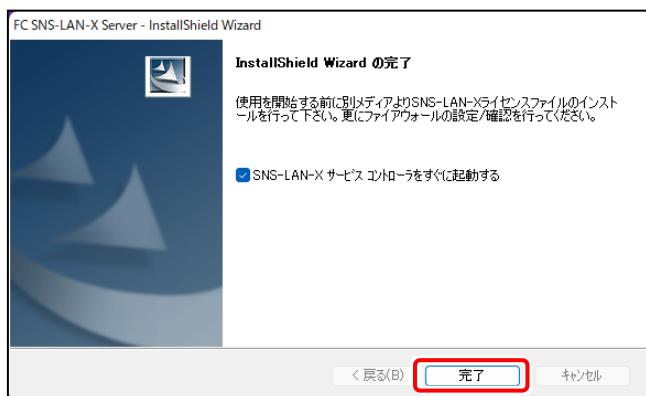


※ 下記画面が表示された場合は、プロテクトが正常に認識されているか確認してください。



(次ページへ続く)

5. [完了] をクリックします。

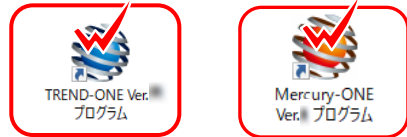


(次ページ「Step3」へ進みます)

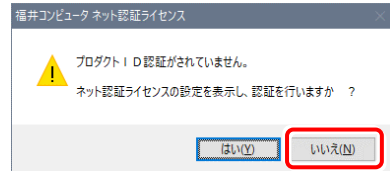
Step3 | プロテクトの認証

新サーバーマシン、およびクライアントマシンでインストール済みのプログラムを起動して、USB プロテクトのモード（USB ローカル、LAN、USB ローカル+LAN）を指定します。

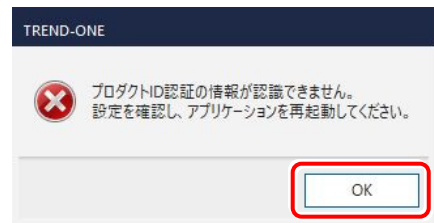
1. デスクトップの [TREND-ONE] [Mercury-ONE] をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[いいえ] を選択します。



次に表示されるメッセージは [OK] をクリックします。

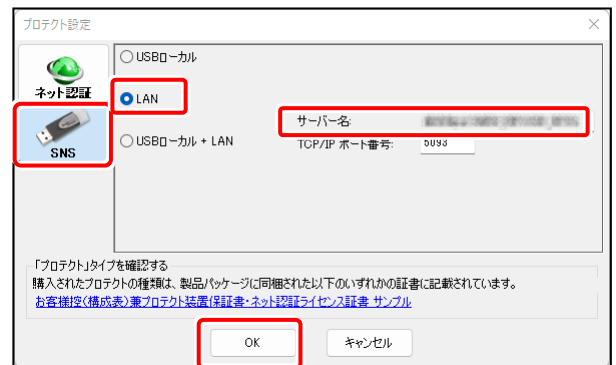


3. [プロテクト設定] 画面が表示されるため [SNS] の [LAN] を選択して [サーバー名] に新サーバーマシン名を入力します。

入力を終わったら [OK] をクリックします。

※サーバーパソコン名が不明な場合は、既に USB プロテクト (SNS-LAN) で起動できている他のクライアントパソコンの「プロテクト設定」でサーバー名を確認するか、サーバー管理者にご確認ください。

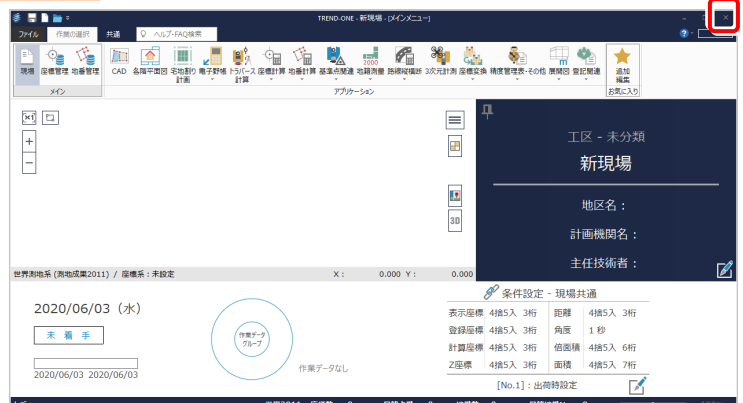
※「プロテクト設定」の確認方法は、弊社 WEB サイト「お客様サポート」の「各プロテクトの認証方法」の「[USB プロテクト \(SNS-LAN-Xタイプ\)](#)」の「補足」を参照してください。



4. プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の [×] ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で、「USBプロテクト (SNS-LAN-X) の認証」は完了です。



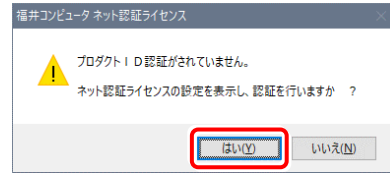
5-3 ネット認証ライセンス（占有）のライセンス取得手順

新サーバマシン、およびクライアントマシンでインストール済みのプログラムを起動して、ネット認証ライセンスのモード（占有、LAN、占有モード+LANモード、共有モード）を指定します。

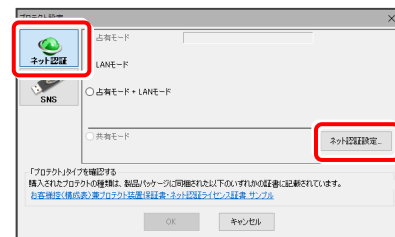
1. デスクトップの [TREND-ONE] [Mercury-ONE] をダブルクリックして起動します。



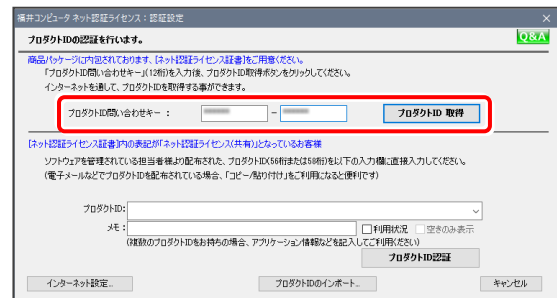
2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい] をクリックして、ネット認証ライセンスの認証をおこないます。



[プロテクト設定] 画面が表示された場合は、[ネット認証] を選択して、[ネット認証設定] をクリックします。



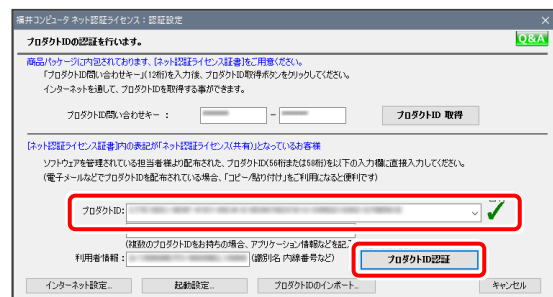
3. [プロテクトID問い合わせキー] を入力して、[プロテクトID取得] をクリックします。
[プロダクトID] が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証] をクリックします。



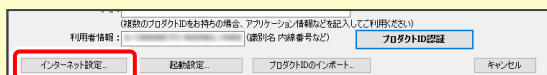
[プロダクトID問い合わせキー] は 6桁+6桁 です。

同梱の「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されています。

重要	本証書は、コンピュータ入れ替えの際などに必要となりますので、大切に保管してください。	出荷日：
ネット認証ライセンス証書（占有）		依頼ID：
ユーザーコード	 	
ユーザー名	 	
製品シリアル番号	 	
プロダクトID	 	
プロダクトID 問い合わせキー	 	
商品構成	 	



- ※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定] ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

4. 「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。

お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

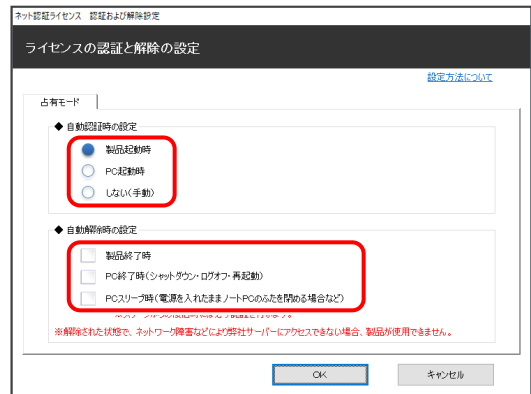
自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。

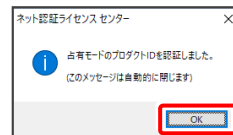
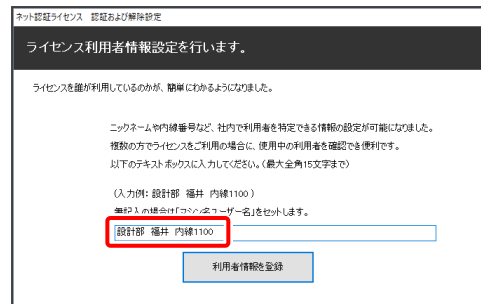
設定を終えたら、[OK] ボタンをクリックします。



利用者情報を入力して登録してください。

【**利用者情報**】 は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。

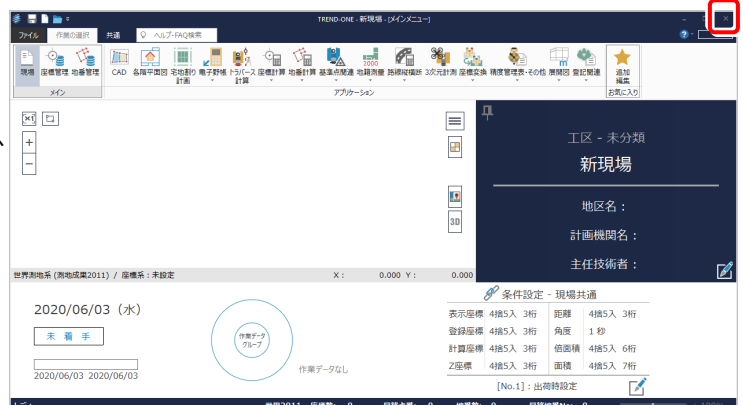


5. ネット認証ライセンス（占有）のプロダクトIDが

認証され、プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の「×」ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で「ネット認証ライセンス（占有）のライセンス認証」は完了です。



6 データ・設定のリストア（復元）

旧サーバマシンでバックアップしたTREND-ONE、Mercury-ONEの「サーバー現場データ」、「ローカル現場データ」、「全設定」を、新サーバマシンのTREND-ONE、Mercury-ONEにリストア（復元）します。
 ※ここではTREND-ONEで説明します。

※データ・設定のリストア（復元）をクライアントマシンからおこなう場合は、「8 サーバーの参照先変更」を先におこなってください。

6-1 「サーバー現場データ」をリストア（復元）する

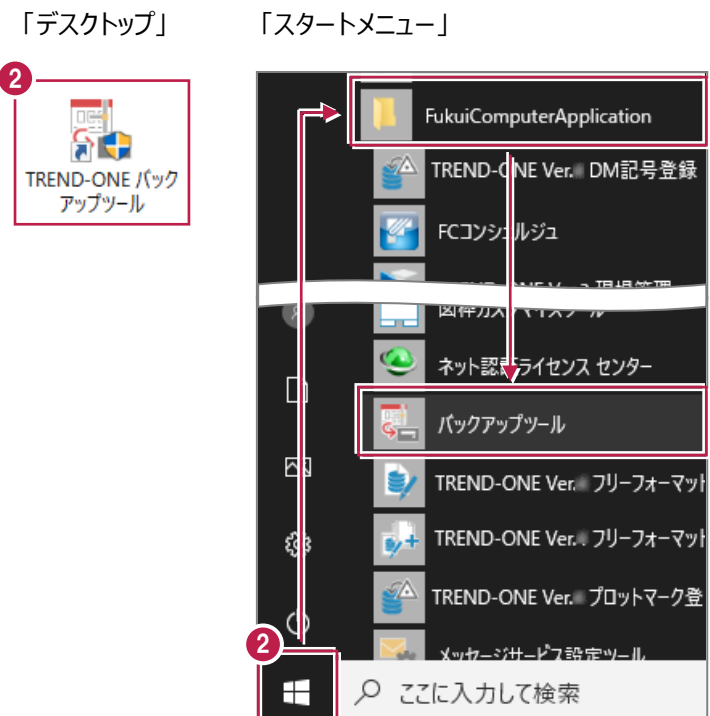
「サーバー現場データ」のバックアップファイルを使用して、サーバーに「サーバー現場データ」をリストア（復元）する手順です。

「サーバー現場データのリストア（復元）」は、サーバーでおこないます。

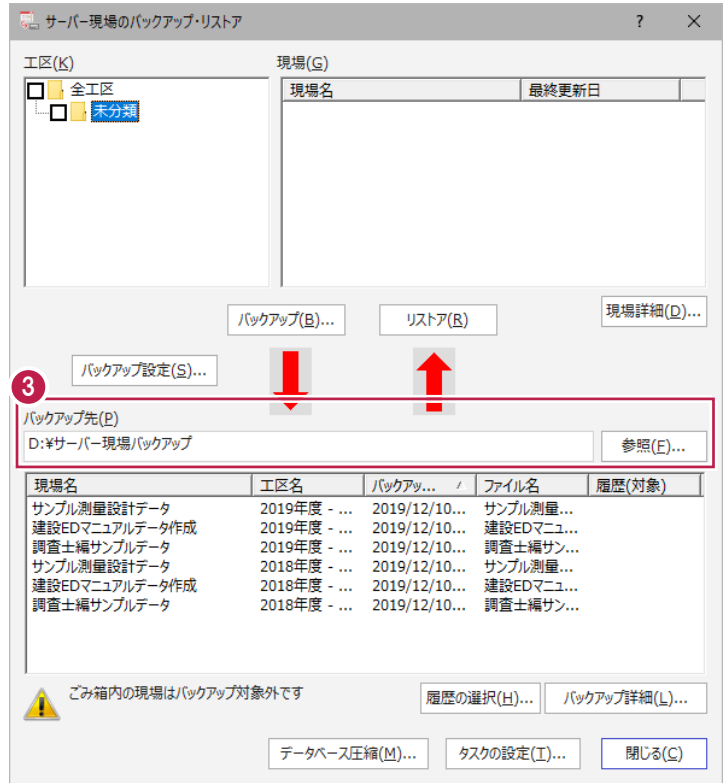
- ① サーバーに、「サーバー現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- ② サーバーのデスクトップにある
 [TREND-ONE バックアップツール]
 をダブルクリック、または
 [スタートメニュー] -
 [FukuiComputerApplication] -
 [バックアップツール]
 をクリックして、「サーバーバックアップツール」を
 起動します。



- ③ [バックアップ先] で、「サーバー現場データ」のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



- ④ 一番上の現場データをクリックした後、「Shift」キーを押しながら、一番下の現場データをクリックして、現場データをすべて選択します。

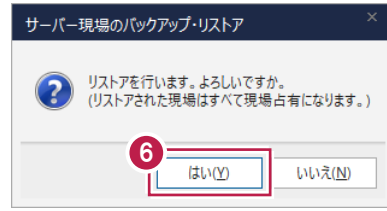


- ⑤ [リストア] をクリックします。

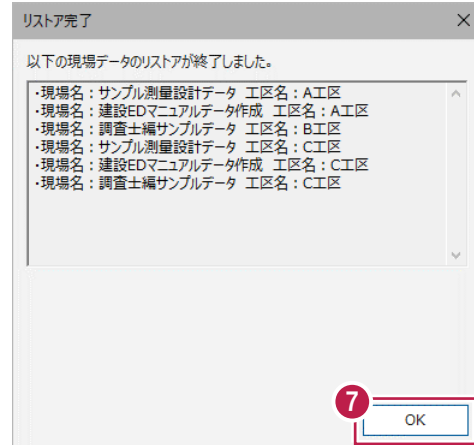


6 [はい] をクリックします。

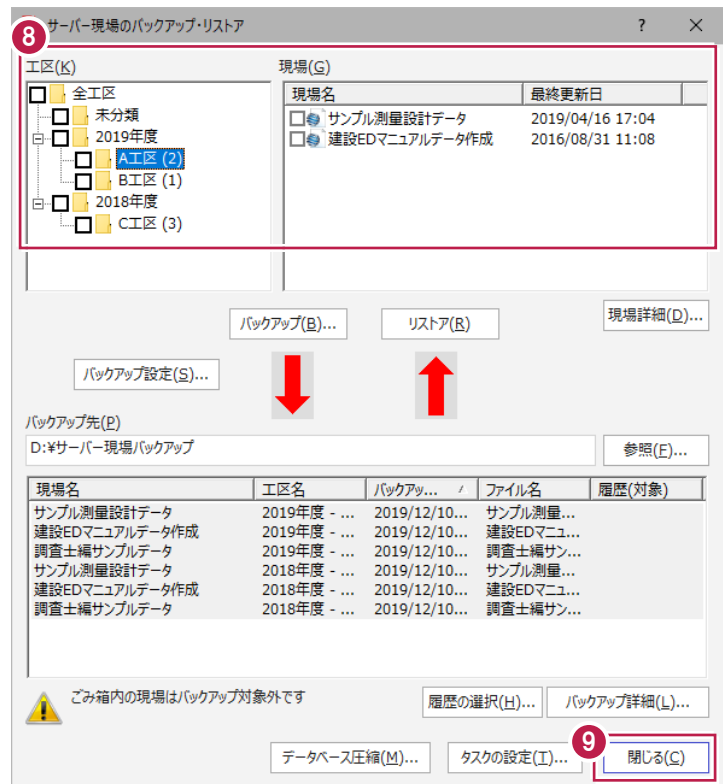
リストア（復元）が開始されます。



7 リストアが終了したら、[OK] をクリックします。



8 リストア（復元）された「工区」と「現場」を確認します。



9 [閉じる] をクリックして、「サーバーバックアップツール」を終了します。

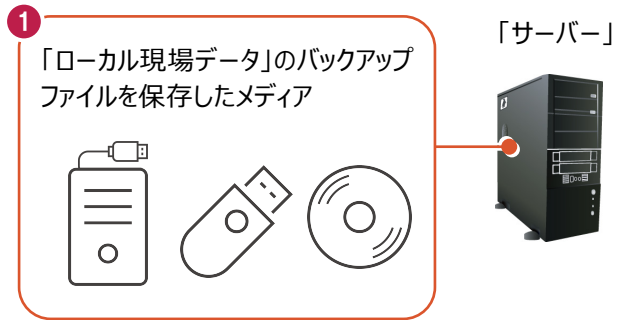
以上で「サーバー現場データのリストア（復元）」は完了です。

6-2 「ローカル現場データ」をリストア（復元）する

「ローカル現場」のバックアップファイルを使用して、サーバーマシンのローカル現場データをリストア（復元）する手順です。
※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

※以降の操作は、1-2でローカル現場のバックアップをおこなった場合のみ必要な操作です。
上記条件に当てはまらない場合は、必要ありません。

- 1 サーバーに、「ローカル現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



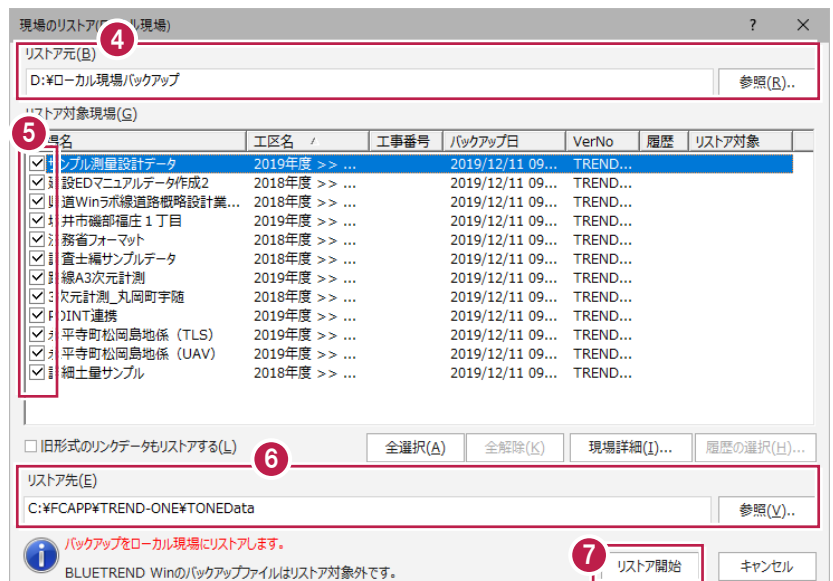
- 2 現場管理を起動して、[ホーム] タブ [表示モード] グループ [ローカル現場] をクリックします。



- 3 [読込] タブ [リストア] グループ [現場] をクリックします。



- 4 ローカル現場のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



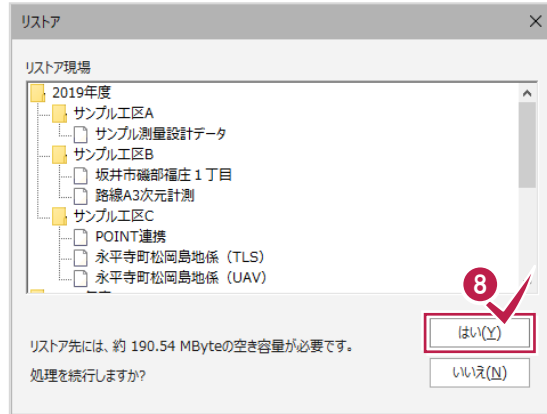
- 5 リストア（復元）する現場のチェックをオンにします。

- 6 リストア（復元）先のフォルダーを指定します。

- 7 [リストア開始] をクリックします。

8 [はい] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。



9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。

以上で「ローカル現場データのリストア（復元）」は完了です。



6-3 「全設定」をリストア（復元）する

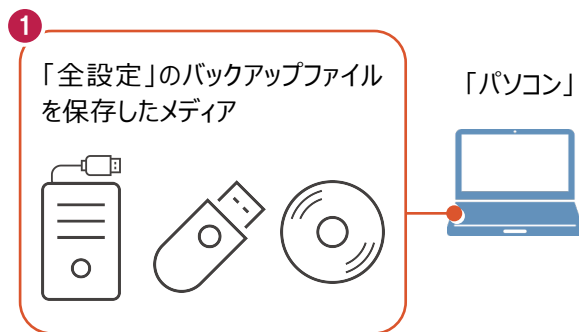
「全設定」のバックアップファイルを使用して、全設定をリストア（復元）する手順です。

※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「全設定のリストア（復元）」は、いずれか1台のパソコンでおこないます。

※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

1 いずれか 1 台のパソコンに、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



2 [読込] タブー [リストア] グループ [全設定] をクリックします。



- ③ 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



- ④ [次へ] をクリックします。

- ⑤ [全選択] をクリックします。



- ⑥ 条件のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。

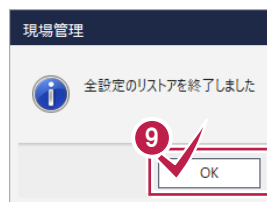
- ⑦ [次へ] をクリックします。

8 [実行] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。

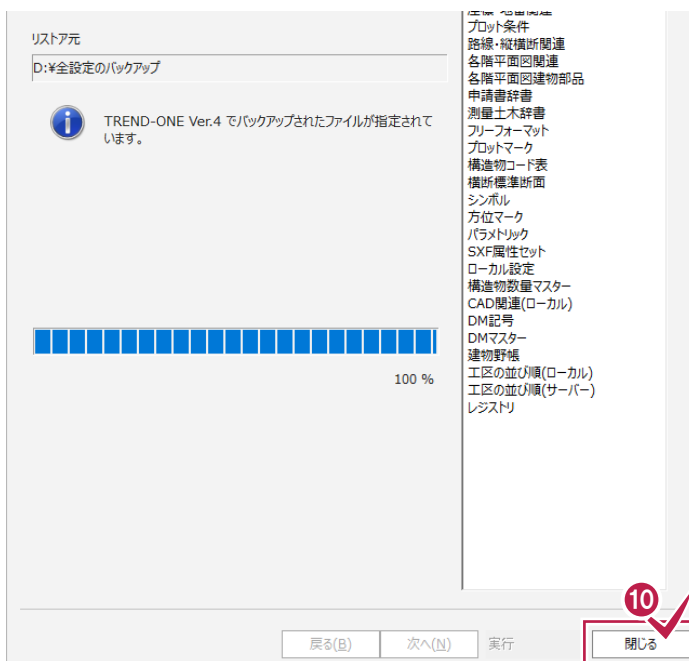


9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



10 [閉じる] をクリックします。

以上でサーバーの「全設定のリストア（復元）」は完了です。



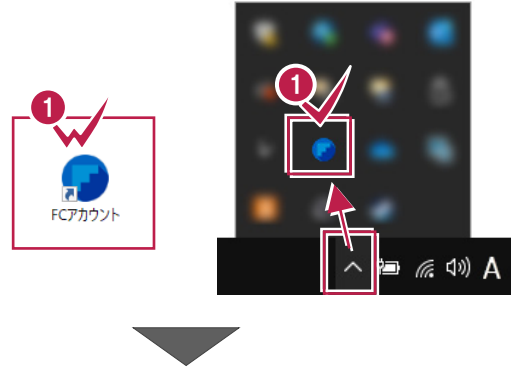
7

セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

7-1 除外設定の手順書を開く

- 1 デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FC アカウント」を起動します。



- 2 画面左側の [保守・サポート] - [操作サポート] をクリックします。

- 3 「測量・土木 CAD 製品 操作サポート」の [操作マニュアル] をクリックします。
お客様サポートの画面が開きます。



- 4 下にスクロールして、「ご利用の製品をお選びください」から「測量 CAD システム TREND-ONE」をクリックします。



- 5 [インストール / 認証・起動] をクリックします。



- 6 [その他お困りごと その他システムに関するお困りごと等] をクリックします。



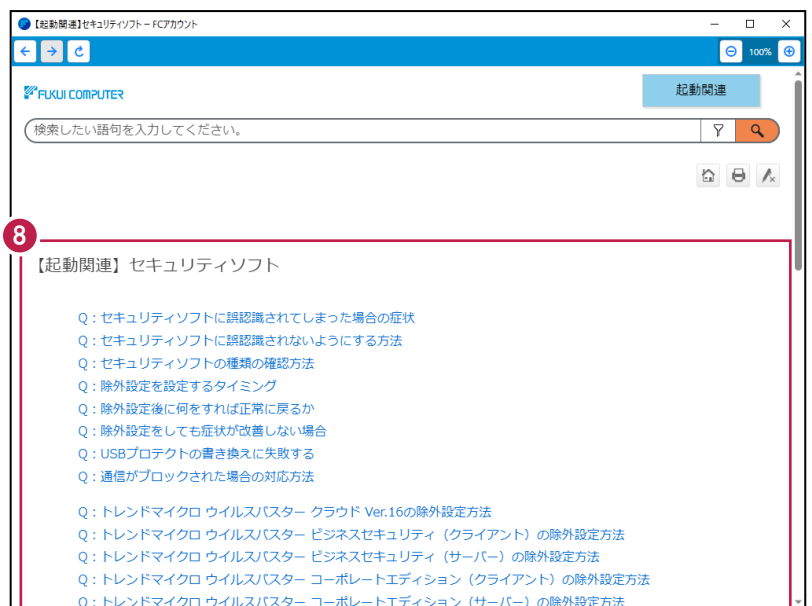
- 7 [セキュリティソフトの除外設定について] 中の [セキュリティソフトの除外設定方法] をクリックします。



- 8 セキュリティソフトの除外設定の手順書が表示されます。

お使いになっているセキュリティソフトに合わせて「Q:」をクリックします。

手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。



8 サーバーの参照先変更

クライアントマシンのサーバーの参照先を変更します。すべてのクライアントマシンで以下の操作をおこなってください。
※ここでは、TREND-ONEで説明します。

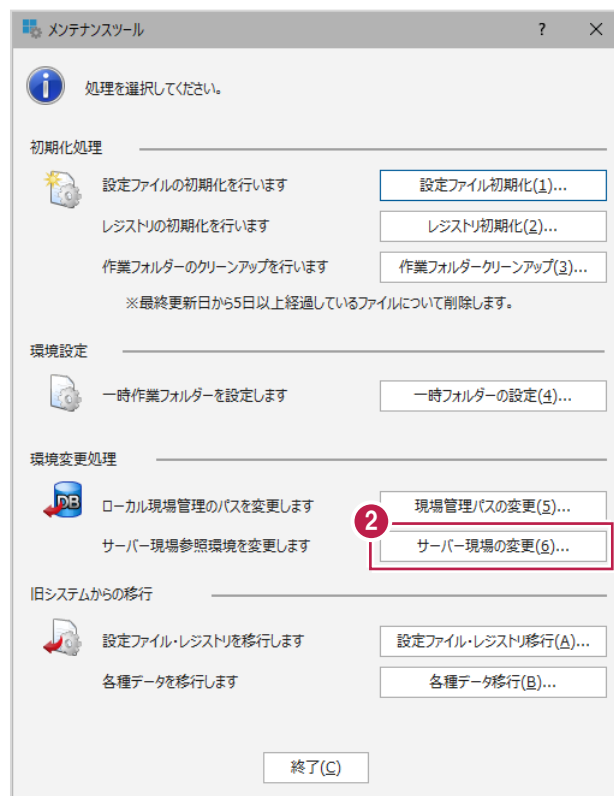
8-1 クライアントマシンのサーバーの参照先を変更する

サーバーの参照先変更は、すべてのクライアントPCでおこないます。

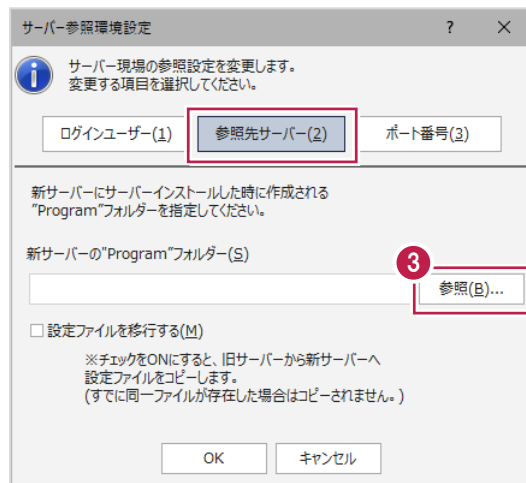
- 1 スタートメニューから、[FukuiComputerApplication] – [TREND-ONE Ver.~メンテナンスツール] を起動します。



- 2 メンテナンスツールの画面が表示されたら、[サーバー現場の変更] をクリックします



- 3 サーバー参照環境設定の画面で「参照先サーバー」を選択し「参照」をクリックします。



- 4 「ネットワーク」から新サーバーマシンを参照して、「TREND-ONE_Server¥Program」フォルダーを指定します。

- 5 [OK] をクリックします。

以上で、クライアントマシンのサーバー参照先変更は完了です。

